

河内名所圖會

五



河内名所圖會卷之五目錄

大縣郡

龜瀨川 奇石 數品

高尾山

天湯川田神社

竹原井

宿奈神社

高安田廢寺

普光廢寺

大日寺

金山孫神社

鐸比古神社

米山

鷹巢山

地藏堂

金山孫女神社

智識寺 信守泉

松谷光德寺

氷室旧蹟

夫婦冢

大冢

長冢

寡婦冢

瑠璃寺 山井

石神社

若倭彦神社

若倭姫神社

阪原荒陵

崩冢

春日神祠

大狗神社

常世岐姫神社

高安郡

恩智山

恩智神社 根社 末社

恩智方近墓

九本櫻

高安山

高安里

名産高安本綿

教興寺



天照高座神社

白飯滝

掃部神社

八大金剛

法藏寺 佛殿 清涼塔

石佛観音

圓鏡池

高安城墟

鬼額 四百殿

千塚

佐麻多度神社

真徳丸古蹟

玉祖神社 本社 梶原郡

意の水

竹之坊

十三作

業平河内通跡

花岡山

苗吹松

夜懸巖

別之水

春日戸神社

御祖神社

鴨神社

樂音寺

河内郡

伊駒山

御野神社

寺井

津原神社

池島觀音

恩知川

往生院

楠正成塔

梶無神社

櫻井

四條繩手發場

柳正行墓

牧岡神社 本社 末社 若宮 高津嶽

栗原神社

見澤 一香居 向水池 津原所

如卜

大塚

大津神社

栗原神社

焼ヶ火

河五之壹

栂嶺峠

髮切山

津堂

親善堂

不動寺

龍山石

長尾龍

雙龍

額田祠

額田寺

千手寺

鷲尾山

石切劔叢神社

興法寺

草香山

竹香江

草薙里

日下

大龍寺

富景樓

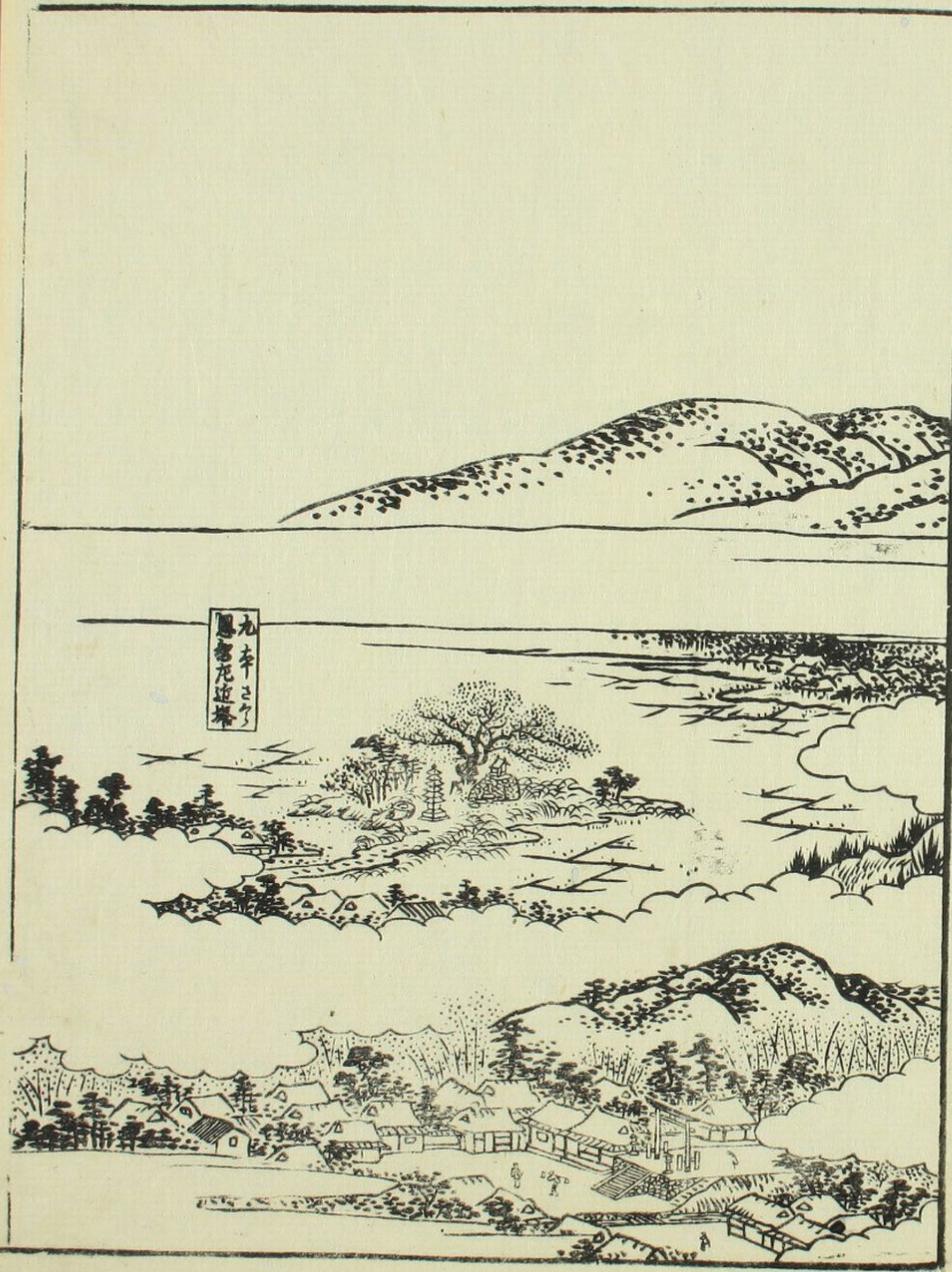
忠臣日下郵使主



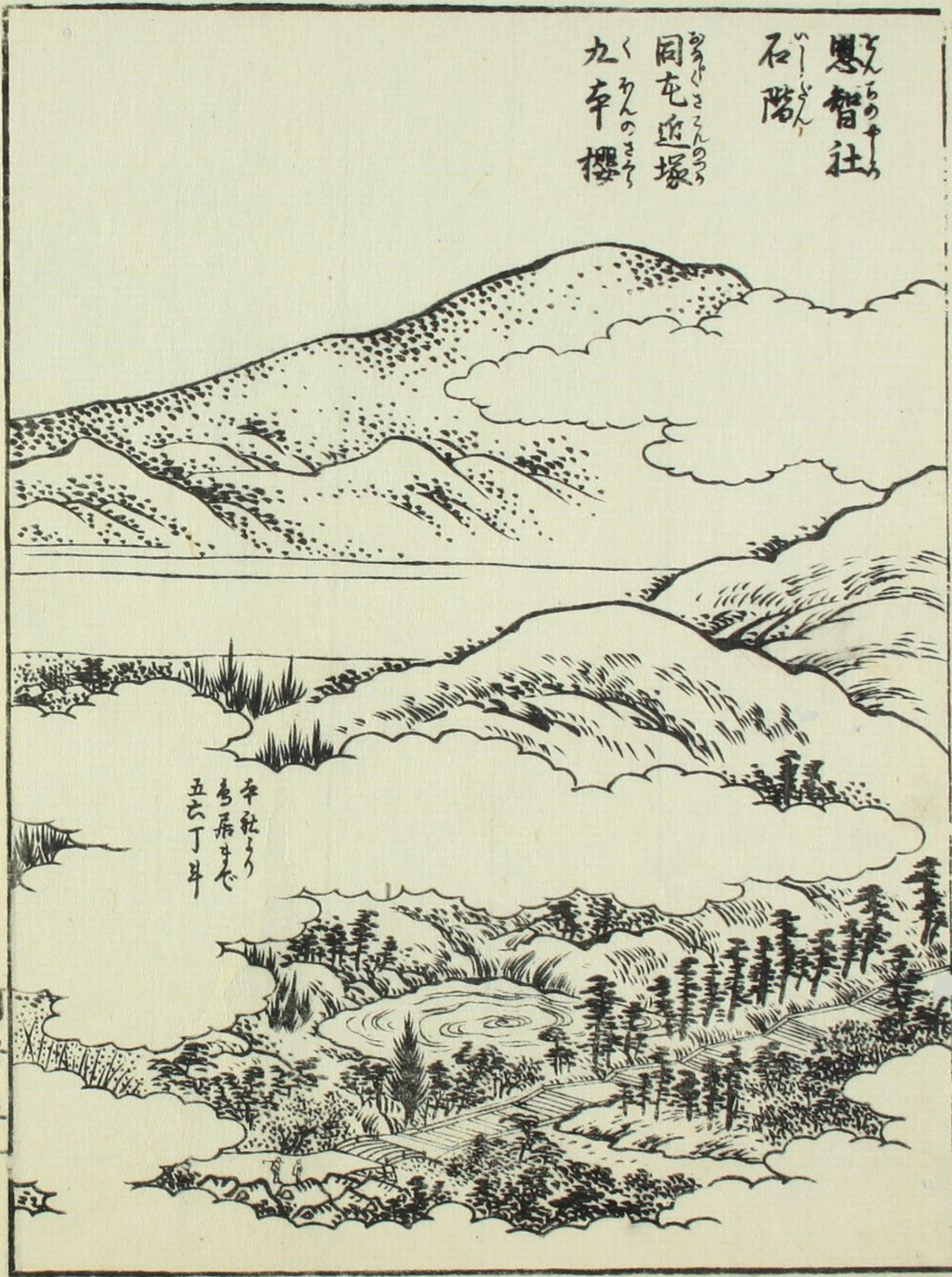
恩智社



河五ノ貳



九本さく
恩智龍塔



恩智社
石階
同屯近塚
九本櫻

本社より
五丁半

河五ノ三

大縣郡 東と和列不郡の界瓜限り西と志紀郡の界瓜限り

龜瀨川 和列不郡の川の下流あり水原大和名所園舎に藝一あり上の名瓜限り

高尾山 大縣村の東あり山腹小老松一本あり根を巨叢のくく小徑入葦葎

天湯川田神社 延喜式出高井田村の西あり

竹原井 高井田村の東あり續日本紀云善老元年二月 元正帝車駕瓜

宿奈川田神社 高井田村の東南あり土人白阪の作を称り

高井田廢寺 日村あり今高井田村小長業ちやく高井田寺を

普光廢寺 日村あり傳延曆三年六月寺僧勤韓赤衣瓜獲く

大日寺 安堂村あり曹洞宗永照山中号凡太平村の智藏寺の二院あり

卒尊大日如来 長武尺八寸高寺の卒尊を大坂

金山孫神社 延喜式内高尾山の嶺小あり今比賣妻日步弟とて傳小

鐸比古神社 延喜式内高尾山の嶺小あり今比賣妻日步弟とて傳小

米山 平野村の上方雁尾畑山の東あり

鷹巢山 法善寺村の上方小あり米山と山脈相續たりとも鷹巢と繼

地藏堂 龜瀨川あり里人云婦人乳を病との或と乳のまらと

金山孫女神社 延喜式出雁尾畑村あり今山王と稱り

智識寺 初免安堂右平の二村ありて伽藍巍々たり天平勝室八年

清淨泉 在平村あり

松谷光德寺 雁尾畑村あり淨去真宗

本尊阿弥陀佛 法善寺あり淨去真宗

後建一の勅 照曜山光德寺と改心後安堂院の聖堂

法平不値々 專修念佛門小入て遂小親善聖人の尊子とき

後建一の勅 照曜山光德寺と改心後安堂院の聖堂

法平不値々 專修念佛門小入て遂小親善聖人の尊子とき

法平不値々 專修念佛門小入て遂小親善聖人の尊子とき

法平不値々 專修念佛門小入て遂小親善聖人の尊子とき

法平不値々 專修念佛門小入て遂小親善聖人の尊子とき

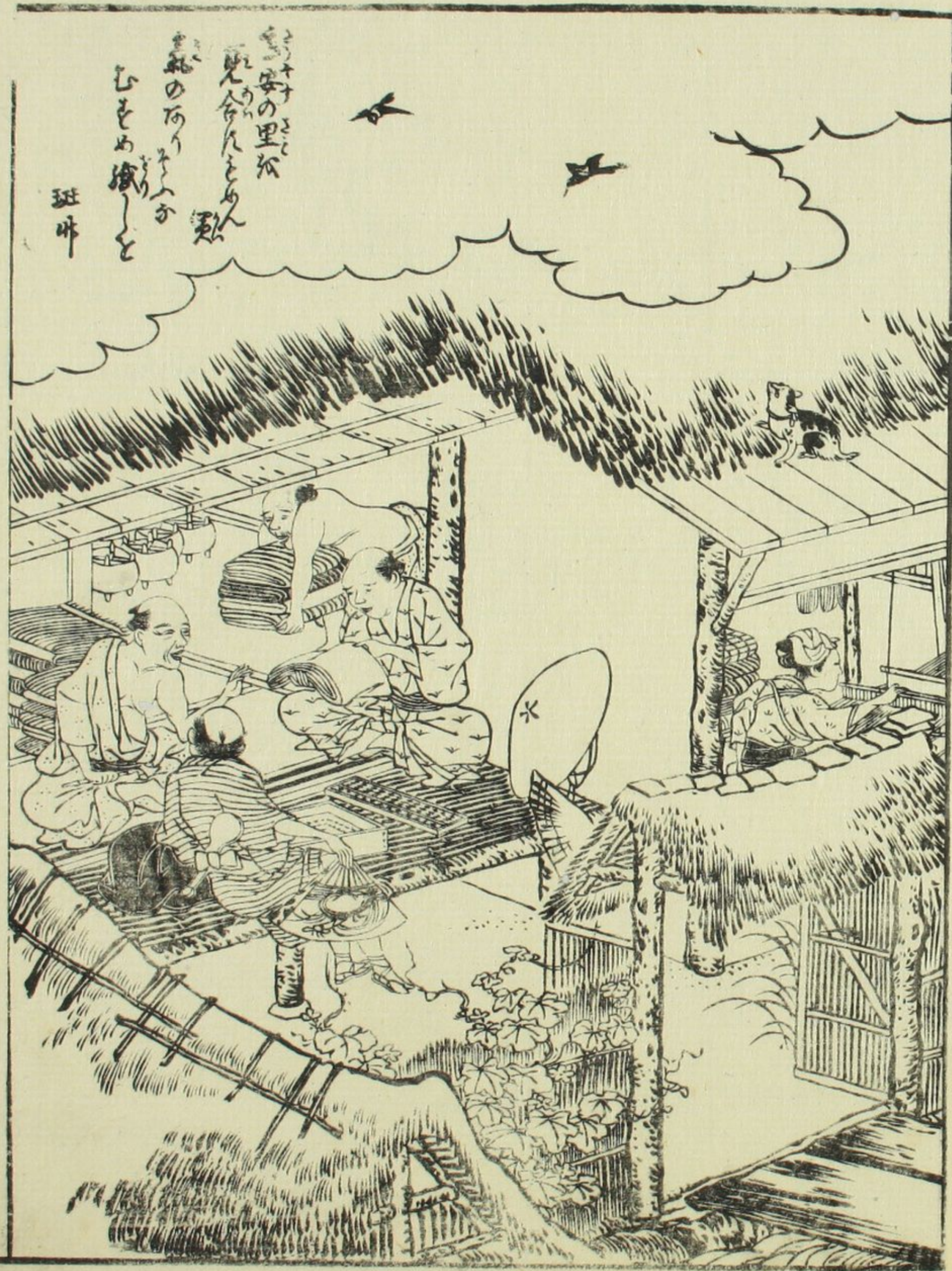
法平不値々 專修念佛門小入て遂小親善聖人の尊子とき

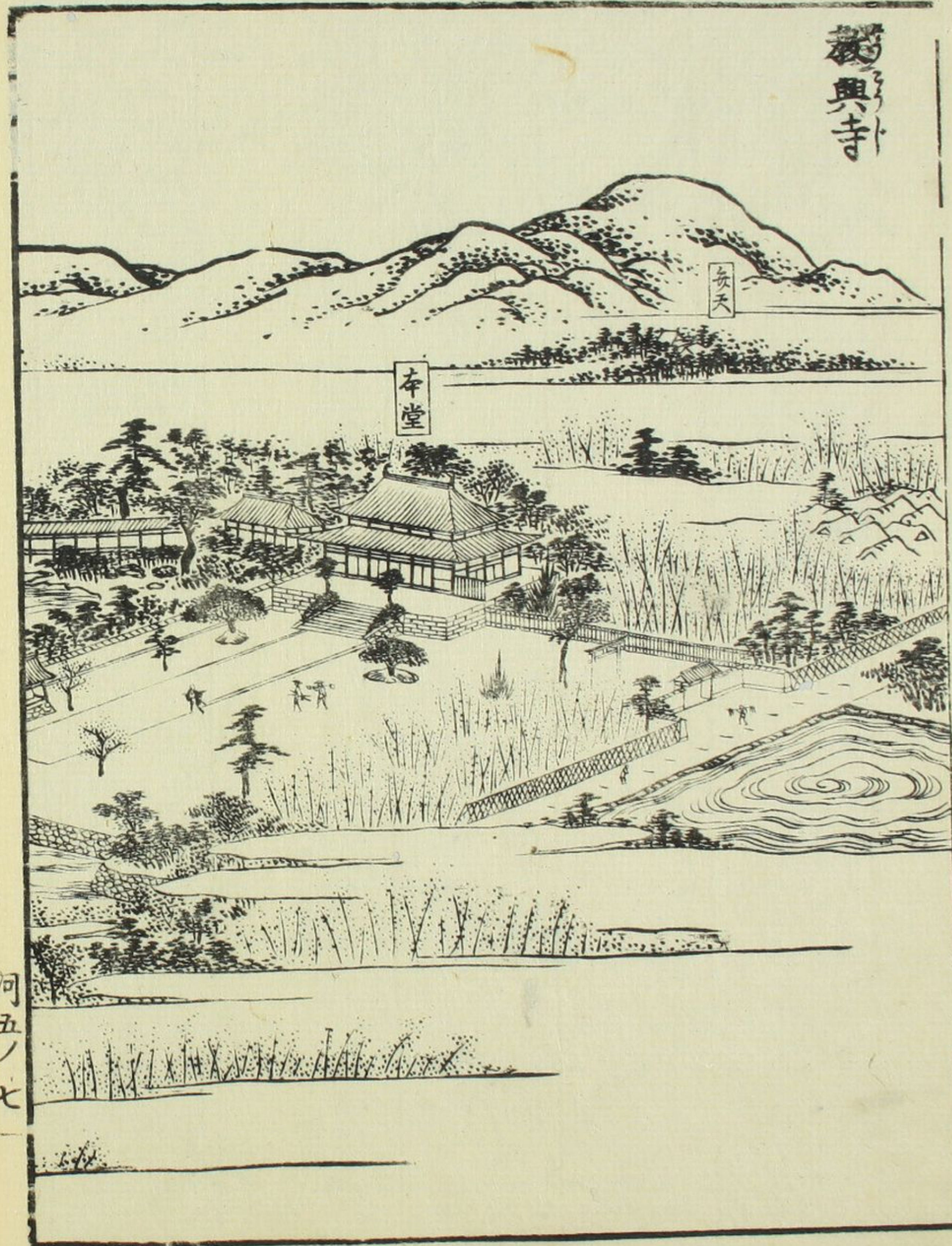
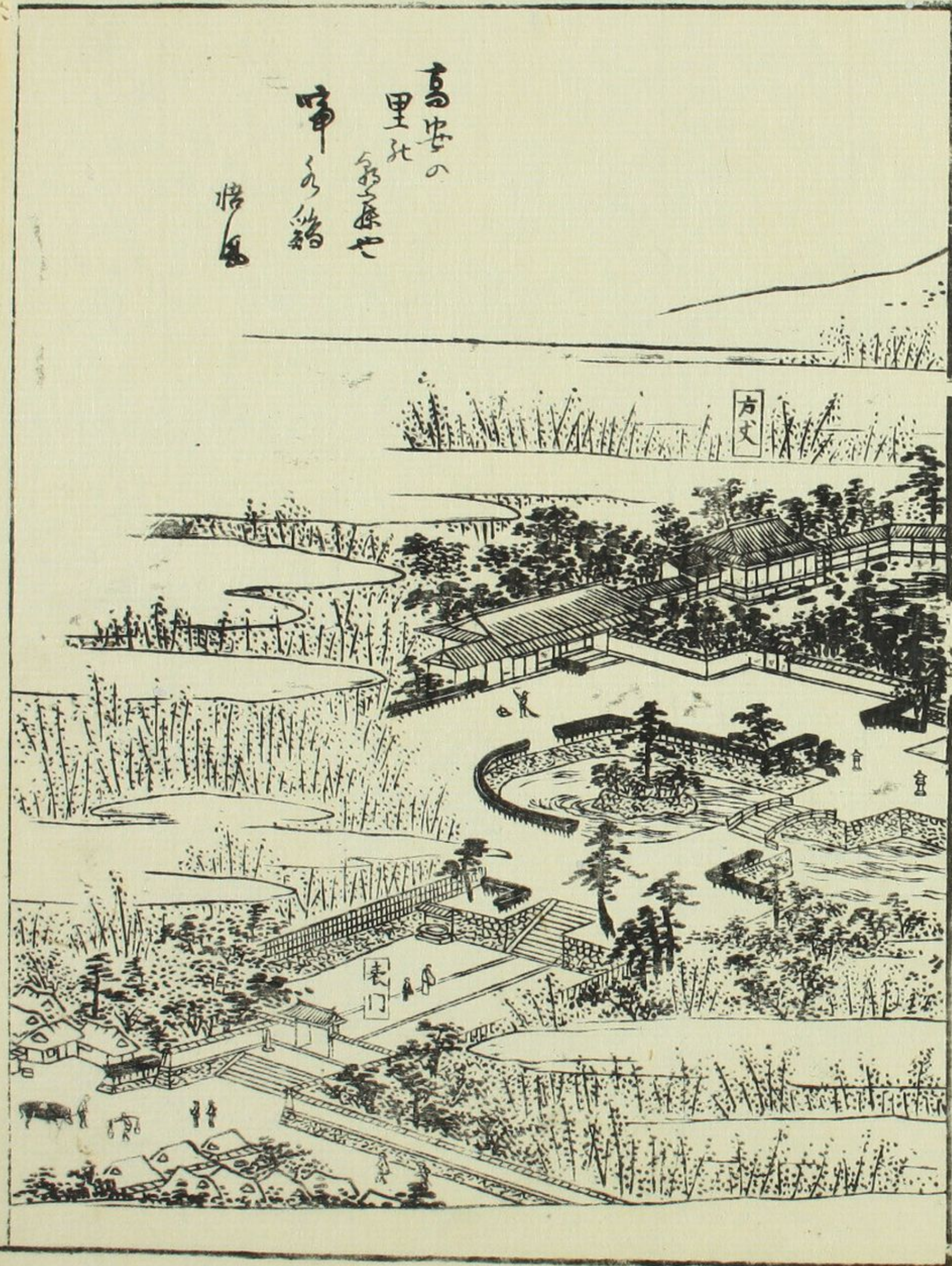
名地形り
水室舊蹟 雁多尾畑村あり 氷室の始り 仁徳天皇の清きなり
夫婦塚 同村あり 大塚 長塚 寡婦塚 偶小青塚
琉璃光寺 山井村あり 醫王山 山号 凡用基と行基大士あり 奉
山井 堂の傍あり 清冷井あり 潤井あり
石神社 延喜式出太平寺村あり 今熊野と移り 三代實録云
若倭姫神社 延喜式出平野村あり 今権現八幡二座と移り
若倭姫神社 延喜式出平野村あり 今権現八幡二座と移り
阪戸原荒陵 平野村あり 里人云 天寧陵と古事記西浦村白髪山あり
崩家 山井村あり 由緒詳し
春日神祠 大縣村あり 大縣山 山井法善寺 平野等の
大狗神社 延喜式出本堂村あり 今山王と移り
常世岐姫神社 延喜式出神宮寺村あり 今八王子と移り
高安郡 東八和州平群郡の界を限り 西八若江郡の界を限り
恩智山 恩智村の東北に
恩智神社二座 延喜式曰名神大月以拒嘗 新嘗 恩智山あり
十一月外辰の日 文德實録云 嘉祥三年冬十月 恩智大御食津
兼授從 攝社 春日神 熊野 西宮 玉祖 住吉
二位 龍近將監恩智滿一墓 恩智村の沖あり 柳氏の墓あり 王率に
勅勞 志操 愛日 城郭の
九本櫻 恩智の側あり 古く大樹あり 根際より 九年
又二十年 桜を枯朽し 古く 古梅のめ 桜の鏡
老梅 一國の名本あり

高安郡
水室舊蹟 雁多尾畑村あり 氷室の始り 仁徳天皇の清きなり
夫婦塚 同村あり 大塚 長塚 寡婦塚 偶小青塚
琉璃光寺 山井村あり 醫王山 山号 凡用基と行基大士あり 奉
山井 堂の傍あり 清冷井あり 潤井あり
石神社 延喜式出太平寺村あり 今熊野と移り 三代實録云
若倭姫神社 延喜式出平野村あり 今権現八幡二座と移り
若倭姫神社 延喜式出平野村あり 今権現八幡二座と移り
阪戸原荒陵 平野村あり 里人云 天寧陵と古事記西浦村白髪山あり
崩家 山井村あり 由緒詳し
春日神祠 大縣村あり 大縣山 山井法善寺 平野等の
大狗神社 延喜式出本堂村あり 今山王と移り
常世岐姫神社 延喜式出神宮寺村あり 今八王子と移り
高安郡 東八和州平群郡の界を限り 西八若江郡の界を限り
恩智山 恩智村の東北に
恩智神社二座 延喜式曰名神大月以拒嘗 新嘗 恩智山あり
十一月外辰の日 文德實録云 嘉祥三年冬十月 恩智大御食津
兼授從 攝社 春日神 熊野 西宮 玉祖 住吉
二位 龍近將監恩智滿一墓 恩智村の沖あり 柳氏の墓あり 王率に
勅勞 志操 愛日 城郭の
九本櫻 恩智の側あり 古く大樹あり 根際より 九年
又二十年 桜を枯朽し 古く 古梅のめ 桜の鏡
老梅 一國の名本あり

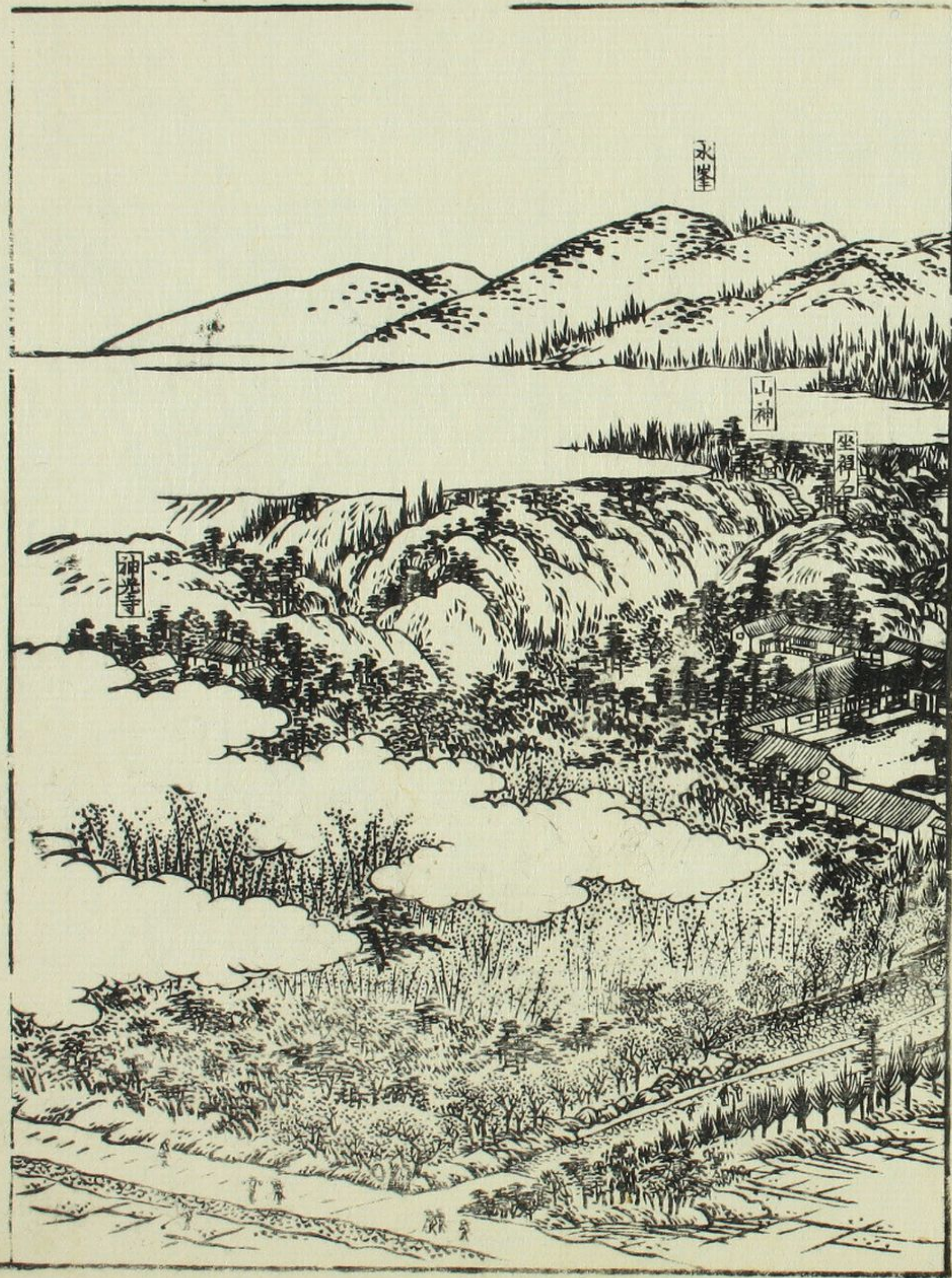
高安郡

高安郡
水室舊蹟 雁多尾畑村あり 氷室の始り 仁徳天皇の清きなり
夫婦塚 同村あり 大塚 長塚 寡婦塚 偶小青塚
琉璃光寺 山井村あり 醫王山 山号 凡用基と行基大士あり 奉
山井 堂の傍あり 清冷井あり 潤井あり
石神社 延喜式出太平寺村あり 今熊野と移り 三代實録云
若倭姫神社 延喜式出平野村あり 今権現八幡二座と移り
若倭姫神社 延喜式出平野村あり 今権現八幡二座と移り
阪戸原荒陵 平野村あり 里人云 天寧陵と古事記西浦村白髪山あり
崩家 山井村あり 由緒詳し
春日神祠 大縣村あり 大縣山 山井法善寺 平野等の
大狗神社 延喜式出本堂村あり 今山王と移り
常世岐姫神社 延喜式出神宮寺村あり 今八王子と移り
高安郡 東八和州平群郡の界を限り 西八若江郡の界を限り
恩智山 恩智村の東北に
恩智神社二座 延喜式曰名神大月以拒嘗 新嘗 恩智山あり
十一月外辰の日 文德實録云 嘉祥三年冬十月 恩智大御食津
兼授從 攝社 春日神 熊野 西宮 玉祖 住吉
二位 龍近將監恩智滿一墓 恩智村の沖あり 柳氏の墓あり 王率に
勅勞 志操 愛日 城郭の
九本櫻 恩智の側あり 古く大樹あり 根際より 九年
又二十年 桜を枯朽し 古く 古梅のめ 桜の鏡
老梅 一國の名本あり











高安郡の山里
 千塚の
 大古の
 窟多し
 其中より
 陶器出づ
 それ神代
 品物の
 みして
 猿田老
 命の製
 石人
 石人

大覺山法藏禪寺

郡山村あり

本尊 正觀音

佛殿あり 寶鏡佛堂 長九寸 昭士 虎巽山門天

石像 觀世音

相傳 弘法大師の傳し 鎮守の神像をまつ

清涼塔

好山和名の廟あり 寺と号し 當山開祖

圓鏡池

堂前の池あり 其外 奉養池 玉蓮池

登龍坂

寺の境内あり 坂あり 虎石不動石

支度山古寺ありて 聖創久遠を因基ありて 詳ふ

年久し 荒蕪なる 元禄中 榮流の僧より住して 極樂寺

と號せ 殿后曹洞宗好山和名あり 棲り 再管の役預ありて 父子

當時の現住仁海和名あり 益洲 昨命汝受て 佛殿諸堂寮會

方丈等悉再建して 名法藏寺と改む 抑閑祖好山和尚と南

海四國の刺史長曾我部泰氏の裔孫と若冠の時土別真如寺小

於て 蘿髮 遊方の後防別泰雲寺小首職 撰別退藏峯

天桂禪師小從て 嗣法 終小寶曆十一年二月廿二日 告少小終

寂凡年七十 二代益洲和尚も亦同姓の一人ありて 止歇 精

舎の營建意は道依高 祥符中丹靑紙好むと 弟園小遊ひ

画名を隨緣齋無礙と号し 沈氏が者流を慕はく 虎松園して

其精妙を傳へり

神靈泉 寺の東南懐抱園の中あり 傳云 當山初建する水定

霖雨の時と濁流 服部 夏少 現職 益洲 昨命 汝受て 佛殿 諸堂 寮會

一傳も 那 漢 支 大 小 方 一 所 詳 され 今 十 回 年 十

の 意 小 的 靈 泉 海 あり 半 漏 々 々 して 流 の 勢 あり 龍 神

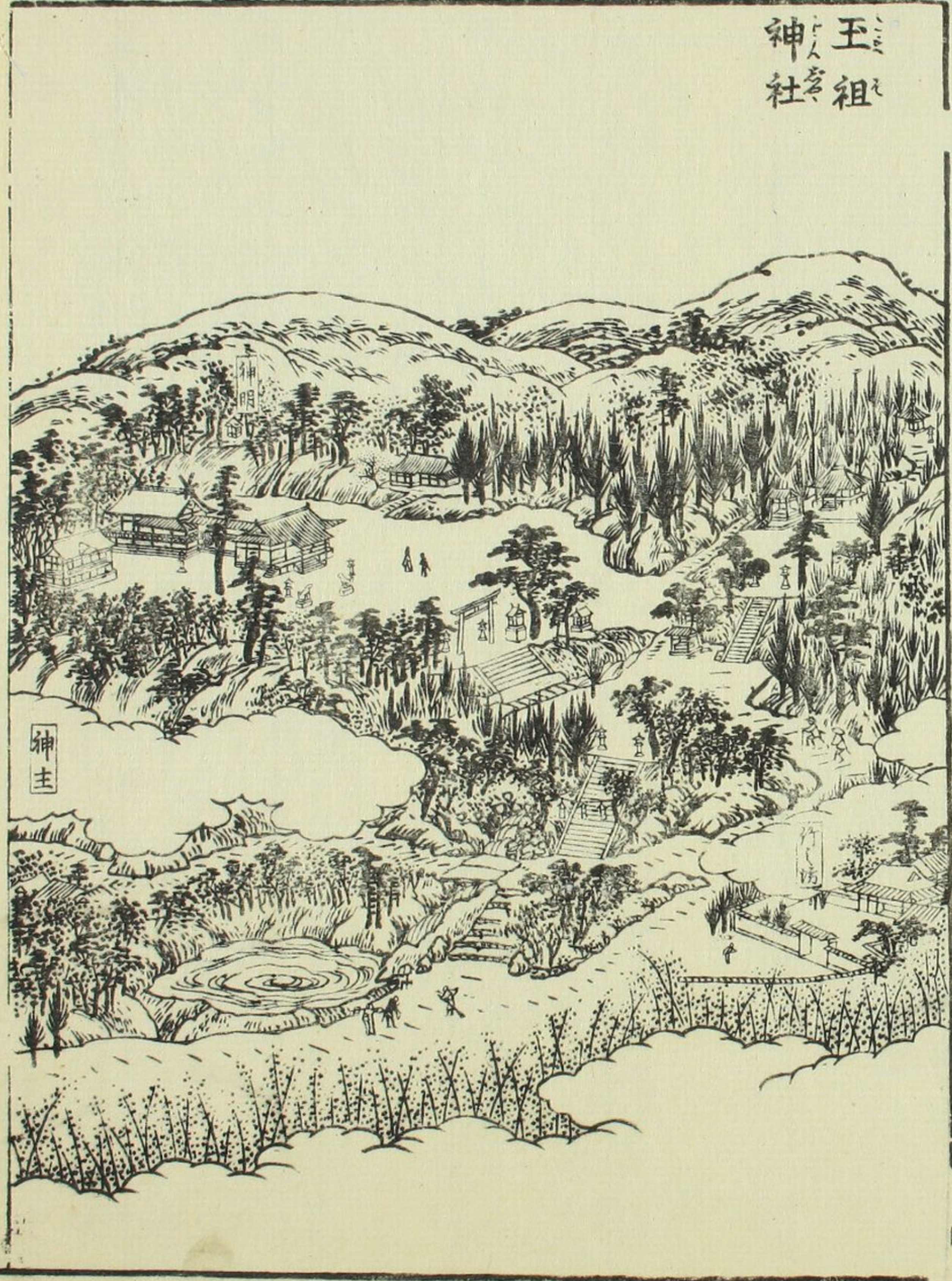
の 意 半 時 あり 今 必 あり 勢 あり 龍 神

感 靈 泉 あり

題 神 靈 泉

刺 山 自 龍 神 現 夢 中 昆 明 緬 想 漢 時 功
碧 水 春 寒 向 巖 崖 發 卓 錫 心 依 勝 槩 雄
禪 餘 茗 飲 其 瓊 液 更 愛 孤 琴 聽 不 窮

五祖
神社



神主

百尺題法藏寺
神仙縮地三千里雲樹連天十五州
歌枕溪声霄作雨釣簾巖色畫當樓
亦能開士經營力無復山崩崖壞憂

益洲

高安故城

法藏寺の上あり傳云天智天皇八年二月高安故城を修む
持統天皇元年十月高安故城を幸じ
武成天皇二年

鬼

八月高安故城を修む又大寶元年八月高安故城を廢し其材具
を大和河内之民に賜ふと云五老峯と云永禄年中松永久秀の恩あり

千塚

千塚村服部川村及法藏寺山内ふまひ大石伝た村小清と
千塚村と云蓋し奥の長サ六七間許中の廣サ方丈
ありとありと云

中なるも有り其より山中ふまひ其多し
鹿の多しと云
又の流ありと云
早の時の火の雨ありと云
毎判なる事と云
おして書もみかほ縁と云

佐麻多度神社 山崎村小あり 延喜式出又階墾深井載と

真徳曆古跡 山崎村の中ふあり 土人獲家宅を修む一説小後徳

百濟王の没小あり 山崎長者と号す 延喜中の人識曲

王祖神社 山崎村小あり 延喜式不出通村十一箇村の生去神

末社 吉野三十八所神 恩智 本地堂 下坂の地小あり

菌光寺竹之坊 尚社神官寺と 眞言信止修也

奉尊千手観音 眞言信止修也 初々尚寺小住神小玉祖の神

千手大悲の尊 容觀を 山崎の勝り 忽然

て奉地堂と 什實小 梶原平三景時の都れあり又朝比奈

三郎義統の書あり な 又平間孫伊郎の弓業神

村の農家小あり 梶原景時制札曰

河内國菌光寺者 鐘舎之由折捨所也 本寺并田畠山林本

甲乙人等不可有礼入坊之状也 平

文治元年十二月日 河五ノ十四

朝比奈書翰

少々校を 山崎村

山崎村 山崎村

義統 山崎村

十三峠 山崎村

業平河内通古蹟 山崎村

意の水 山崎村

其板屋の 山崎村

世の人 山崎村

とぞ 山崎村

云り 山崎村

水の飲せりあり
 けき 釜 湯 冷
 けし 四時 湯
 減か 田 之
 夏 日 の 湯 を
 去 の ぐ 其 命 止
 地 産 湯 あり
 これ 飲 水 の
 地 産 湯 あり

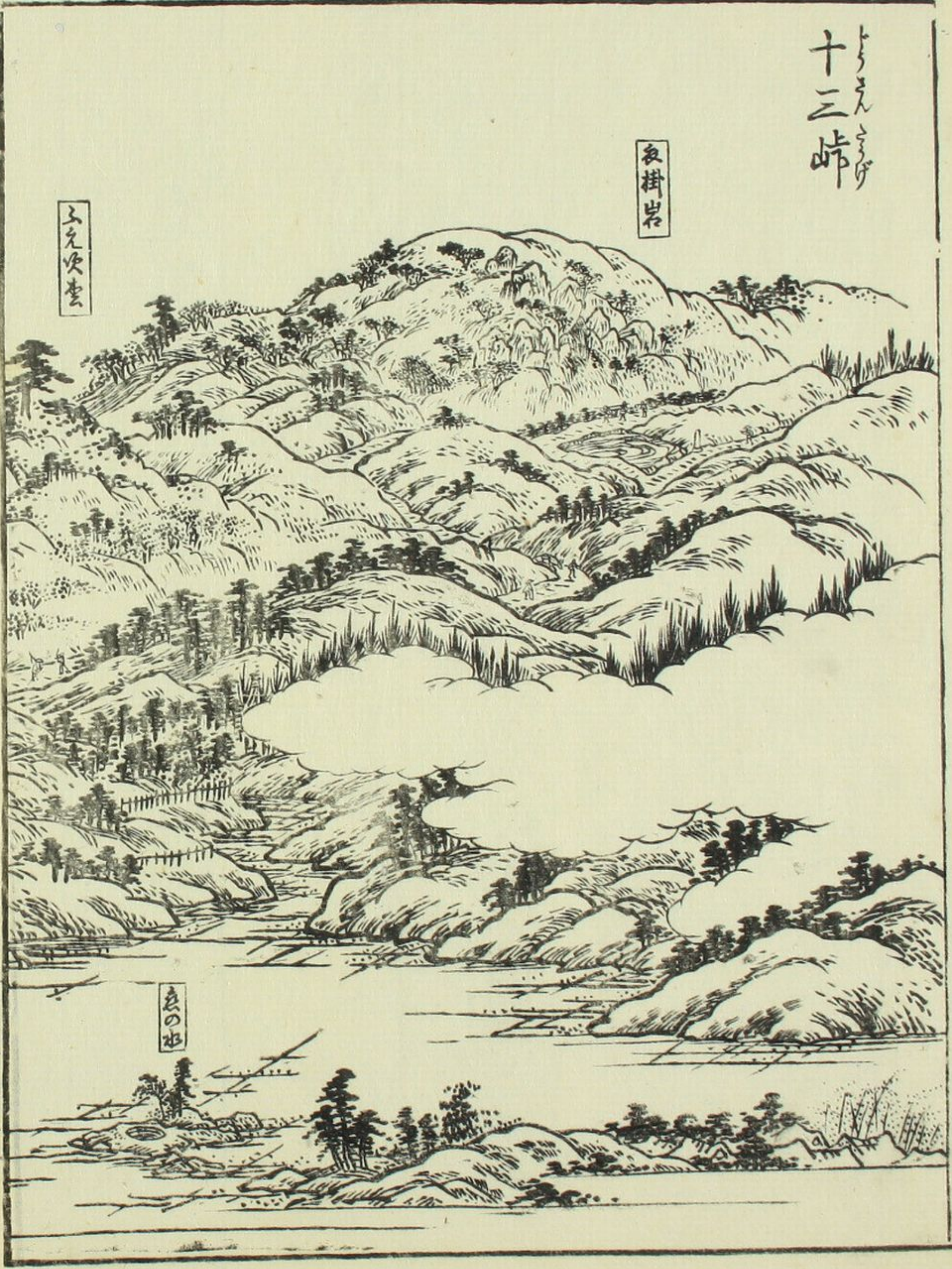


十三峠

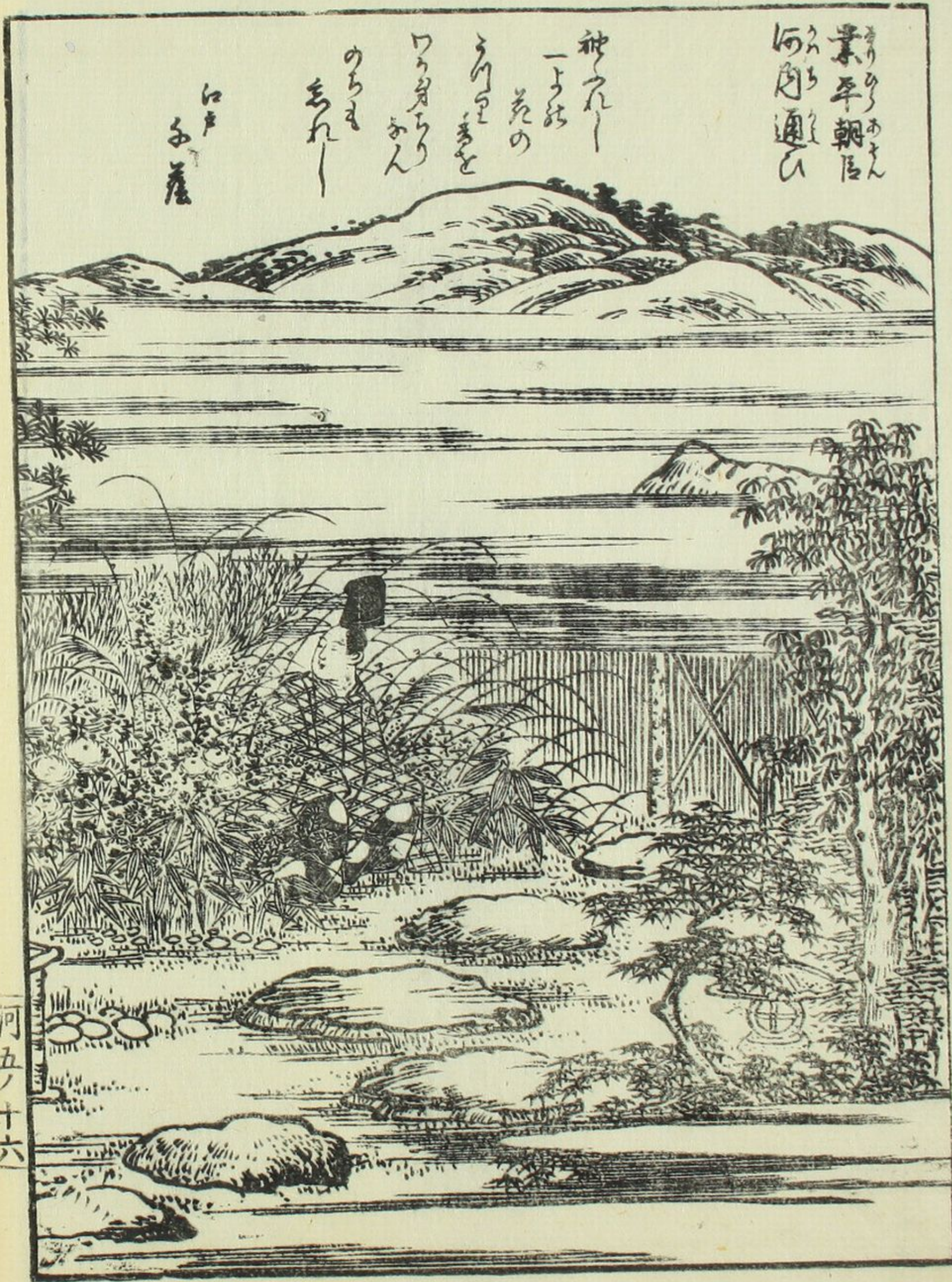
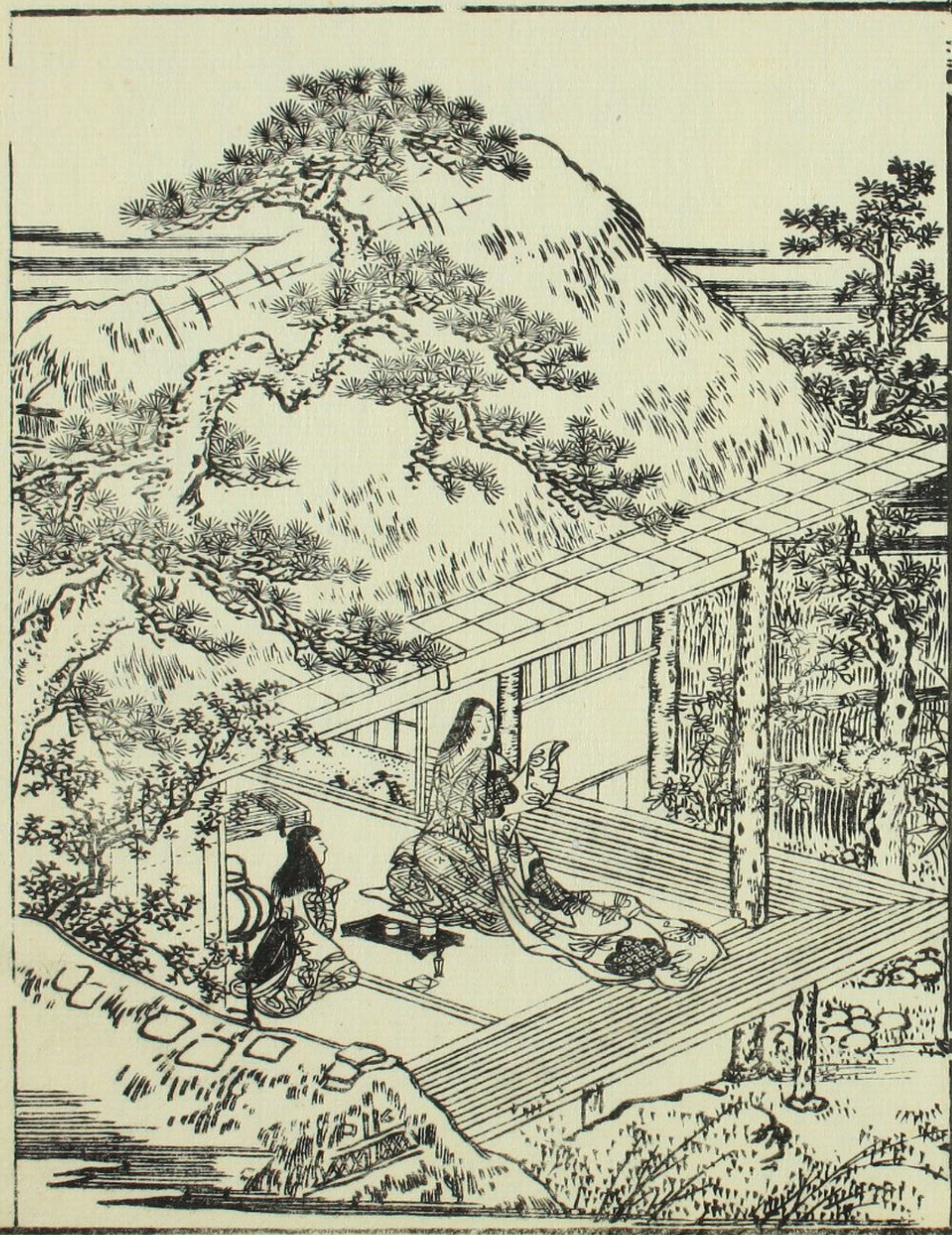
衣掛岩

ふえ次堂

衣の水



河五ノ十五



業平朝臣
 何月通ひ

神代
 一上
 花の
 ちの
 まを
 けり
 かん
 のら
 むれ

江戸
 子
 屋

新千 子親いぬ流しやるぬらん... 大徳大僧

和勒 法の月久し... 大徳大僧

後古 生駒山... 大徳大僧

建保百首 秋の色... 正三位 忠定

御野縣主神社 登敷延喜式出 上ノ若村 津野郷 下小入 今 天司社

寺井 福萬寺村あり

津原神社 延喜式出 市場村 津原 池の側あり 今 玉前明神

池島觀音 池ノ村あり

恩智川 源 高安郡 恩智村あり 流 入 武太 仁徳天皇十四年 掘り大溝 於 感 乃 引 石 河 而 潤 上 鈴 鹿 下 豊浦 四 處 郊 原 以 壑 之 得 四 萬 頃 田

岩瀧山往生院 六萬寺村あり 津土寺あり 釋迦佛 長 五 尺 五 寸 許

本尊阿彌陀佛 長三尺許

他 不詳いし 内道場阿彌陀佛 長 五 尺 三 寸

額 岩瀧山 今 藏 于 什 室 長 五 尺 三 寸 許

親 亦 聖 人 像 長 五 尺 三 寸 許 中 興 安 助 上 人 傳 記 藏 板

楠 正 成 塔 鑄 云 從 五 位 上 攝 朝 臣 正 成 靈 光 寺 大 圓 義 龍 大 居士 於 攝 州 兵 庫 後 戰 死 云 境 内 山 林 あり

楠 正 行 墓 日 所 あり 四 條 德 討 死 の 由 縁 あり

尚 村 在 六 萬 寺 あり 太平十七年 行 基 大 主 の開 創 初 之 年 あり 某 佛 十二 神 將 あり 一 年 天 下 小 渡 あり

一 七 日 小 あり 某 佛 十二 神 將 あり 一 年 天 下 小 渡 あり

一 百 畝 を 喜 捨 あり 故 不 勅 願 所 あり 妙 明 禪 囉 あり 對 境 七 十 戶 寺 團

一 百 畝 を 喜 捨 あり 故 不 勅 願 所 あり 妙 明 禪 囉 あり 對 境 七 十 戶 寺 團

其 後 年 累 あり 宇 多 帝 幸 信 あり 嵩 山 派 禪 補 あり 食 地 二 十 餘 町

其 後 年 累 あり 宇 多 帝 幸 信 あり 嵩 山 派 禪 補 あり 食 地 二 十 餘 町

其 後 年 累 あり 宇 多 帝 幸 信 あり 嵩 山 派 禪 補 あり 食 地 二 十 餘 町

其 後 年 累 あり 宇 多 帝 幸 信 あり 嵩 山 派 禪 補 あり 食 地 二 十 餘 町

其 後 年 累 あり 宇 多 帝 幸 信 あり 嵩 山 派 禪 補 あり 食 地 二 十 餘 町

其 後 年 累 あり 宇 多 帝 幸 信 あり 嵩 山 派 禪 補 あり 食 地 二 十 餘 町

王子殿として四人の社家其苗六藏寺の日記を傳へて尚村小僧に社を頼
廢し今権現の殿として天和の末浄土宗の依譽海鏡坊に於て其令
の荒蕪孤跡と系佛の堂上家へ言上し奉堂に二尊佛を安置し常例
念佛の道場をせしめしむるに役所者山嶽を以て修験の地とす
鬼取ふけの修験地とす此の地として今尚山女人の系傳を以て
夕をせふ女人の系傳とす

大觀岩 小觀岩 神龜掛 剛鬼石 金持池 八葉岩
鬼足印 正行城址 堂之芝 釋迦嶽 掛影池 新向石
九重塔址 正行城址 堂之芝 釋迦嶽

梶無神社 釜延喜式出六萬寺村の屋邑梶井小あり今船山明神と
櫻井 梶井村小あり

四條畷戰場 四條村の發原系御道なり今津東正平四年正月八日楠
太平記云 正行死の所なり或云四條繩子の後良郡北條村小あり

高師直降奉と淀八幡小旗奉して猶諸國の勢と待調へ河内へ
向ふべしと議しつるが楠已小逆奉せん為小右衛門左衛門尉今日

河内の住生院小右衛門中へつるを降奉す二月二日淀谷を以て武萬符野
和泉の場乃浦小陣を取陣直も翌日二日の船八幡を以て六万符野四條繩子
小右衛門やぞ相違べたるも相違を承小當て我相待らん寄て

武萬符野 寄らるるの便ありとせし三軍五分と名雲の陣をか

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

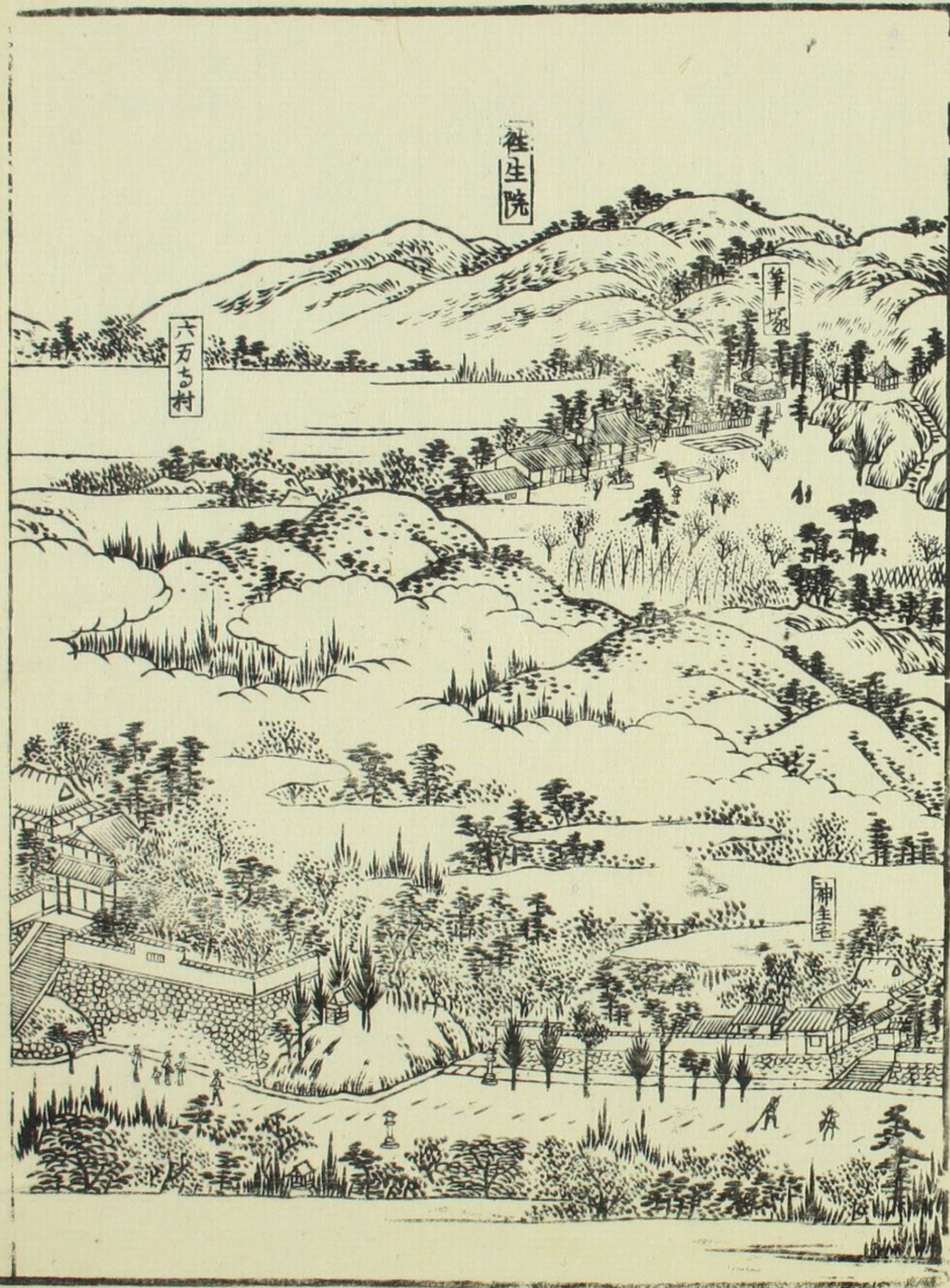
陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

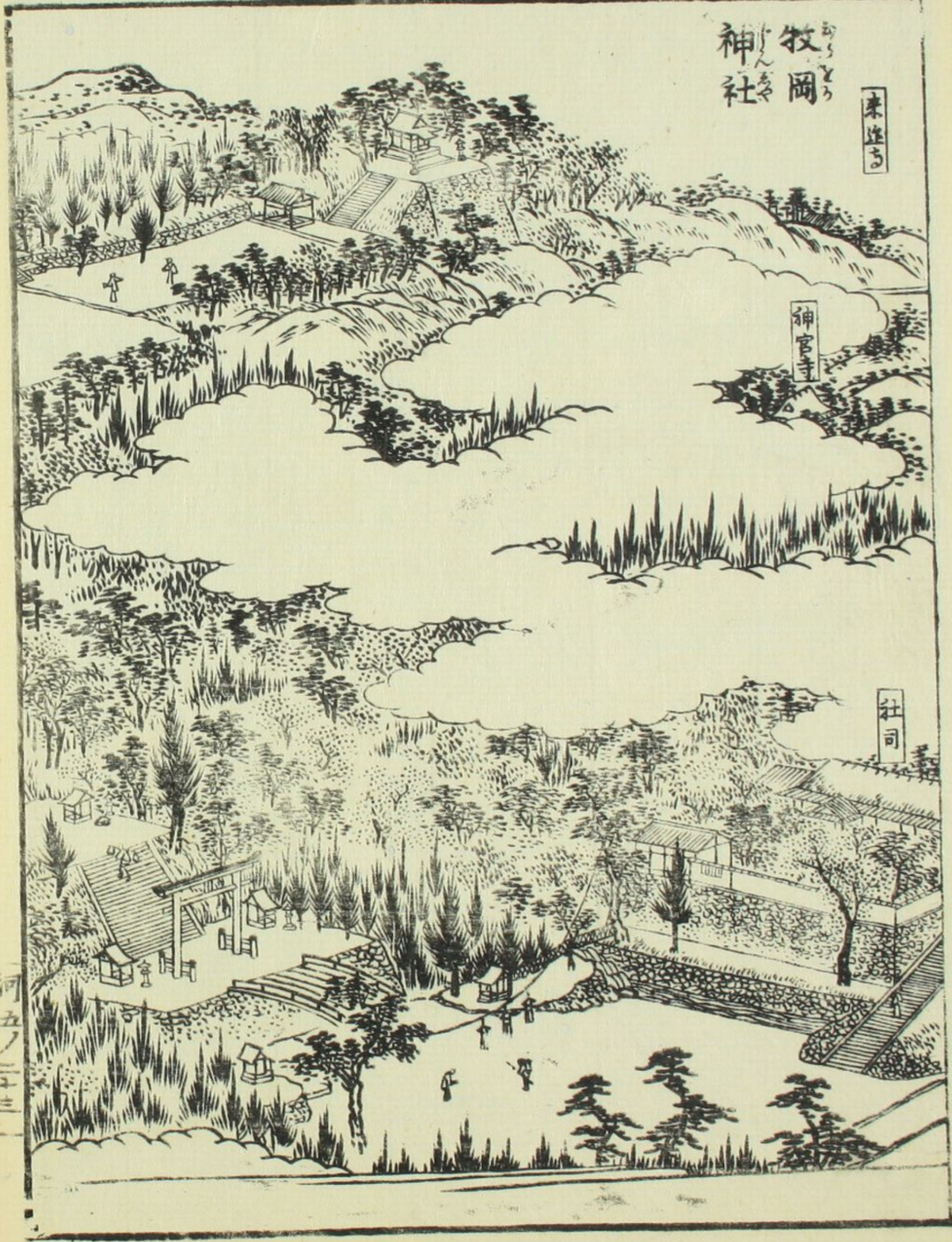
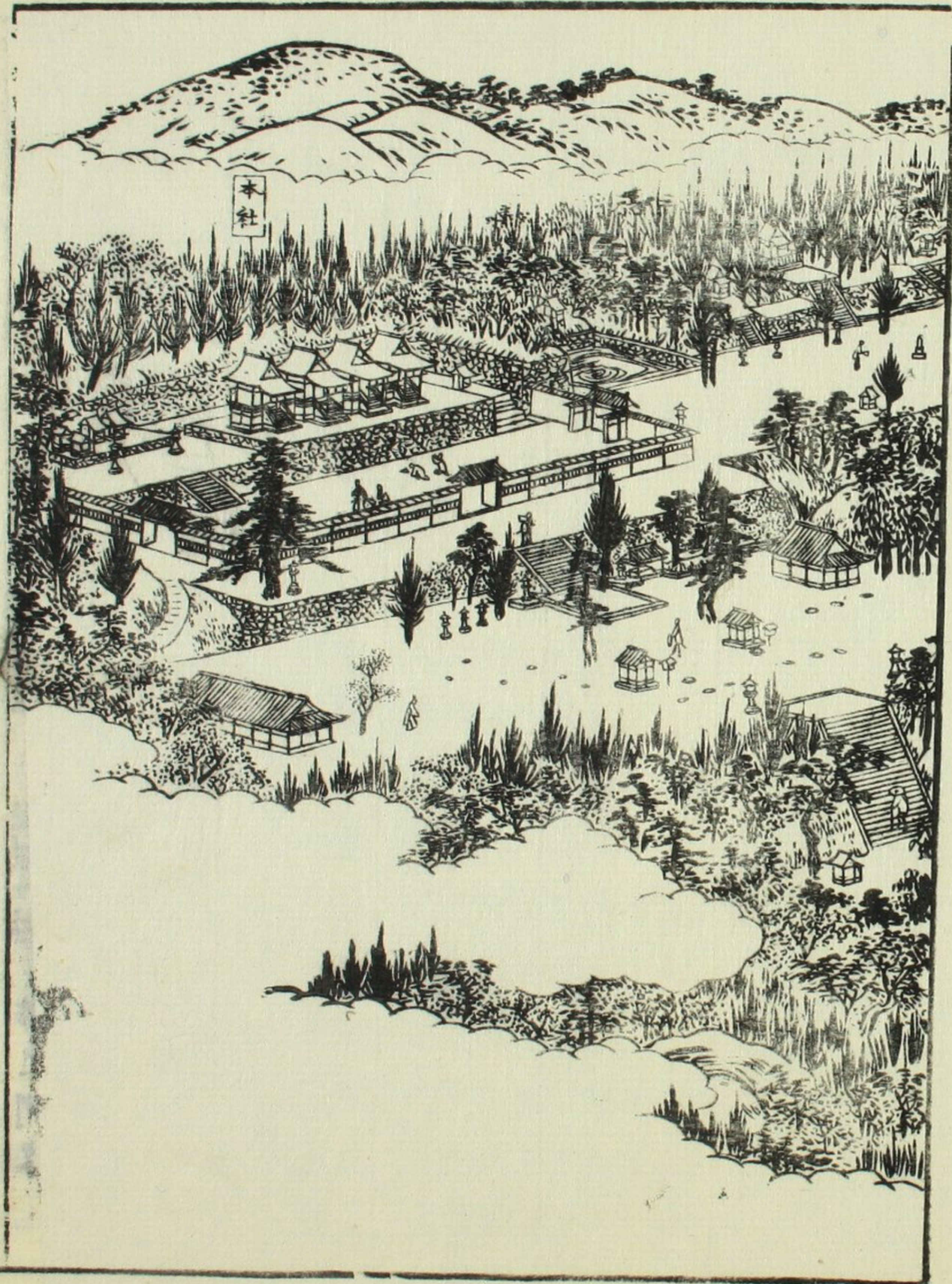
陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

陣小設け陽小備ふ 中界 楠軍刀正行今身正時和國新長高良全身新發意

四條繩手
合戦
楠正行
討死







天下小威を聞ふ者於一於是上奏一曰近年足利天下の權を
持し一官領互小鉾先攻す一王風衰弊一して天業輝々る
半か一不佞尾羽小出誕の時母養の中小日輪を吾々見く狂
身を依之日輪の照き所麾下小属せんとし幸ね一物ねも
二軍五兵の運と徳の末おりと申せば願ハ勅成下一と聞白乃
手職を許し多々仁政を施し一國民を極育せん王道奮小序し
四海清平形一人心を奏し多々を百官儀奏し一逆不 勅許し多々
物り乃時小近衛赤久公龍山日圓白と執柄の職し一て武家それ小
任ぶりの制いま一聞取むし一と天子の外戚振祿の外これ小任
を例か一と獨遮し多々物ねども早勅免おれを是拒おく
龍山公薩摩國一在遷の沖身とせ成り一物ねども二歳も終を
一と帰洛し多々一と聞く一と沖下向の初と沖船ふめこれ波
浪に河尻の志小沖舟なるれ河内國平岡明神と遠祖天兒

屋根の御神をれをう不備し多りく其時神茶を湯煮あり
ほなきの迫近衛もそれありて身と百發中遠侍侍守 松山公
と侍くせはう一の果さて沖下向の多々物ね一留別の侍くろあや
神酒沃敷るを多々んやと沖土器をせせり一其神器忽然中一と
破れ乃ち神人警れた沖土器を以て又碎く花の如し故赤久公不
思議おぼし一先一は夜と先小神酒沃敷られ及小明神へなれぬ一
ゆゑ恙もあつり乃ち神人従者も奇特のそひをせし一ふなるは公沖神の
遠孫おぼし多々れ家官ふりてせり人持中と徳の勝もせはし一とて
ゆゑ奇瑞も有りしゆと人々奇異のそひ張さし一ふなるは龍山公と歳
星の居しゆしは多々れそのを賢者位小在り時と徳星天小見る。夫
齊と周の粟沃喰に屈平が廉直とるを諸人高く張く嘿々一り
子陵と巖子難小陽とく物ね多々これ賢者の病焉とる一平岡
明神の公の精誠とる實ををる一と多々沖土器多々小取かりゆり

又神徳の新なる所之其より頼田村の奥あり不動寺長尾瀬など見え
 めぐり夕ひ舟船小召れ八重の沼風を志のたう川まのりてあそび
 おもむとさびし

このまの國頼田郡ふ天徳宮公寺建立あり

この川のうらやうふ北此の神あり口の結浦原よそそるん

其山公

この名もあまはるふふも足ぬいりうまうまの清ふ
 名身 うりやう

このまのこゑの形乃うはつたこれやほうれ置土とつらん
 右の首級と寛政十九年頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 度のまれ頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 後神頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 大政大臣基熙公祈雨の神頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 大明神の神殿へ納まらぬ忽靈廟頼田寺結縁起の奥書より粗足りり

比良とふあはるうりやう神ありふとあつたあつた
 基熙公

比神短冊神主名居氏ふは後早の神頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 尾花塚 頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 夏見河 頼田寺結縁起の奥書より粗足りり

祝辞石 四位の格ありり 千代古道 道のたつた

河五ノ二六

正月十五日
 比神短冊神主名居氏ふは後早の神頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 尾花塚 頼田寺結縁起の奥書より粗足りり
 夏見河 頼田寺結縁起の奥書より粗足りり



其一

所請占祝詞の巻
此祝詞の巻ハ神主
鳥居氏乃祝儀ナリ
其好の社家ニ月代
ナリ

所請之記

表ハハカ

ワリトコトマヒナ
神マシクテマヒナ

早稲之カ

四十日ハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

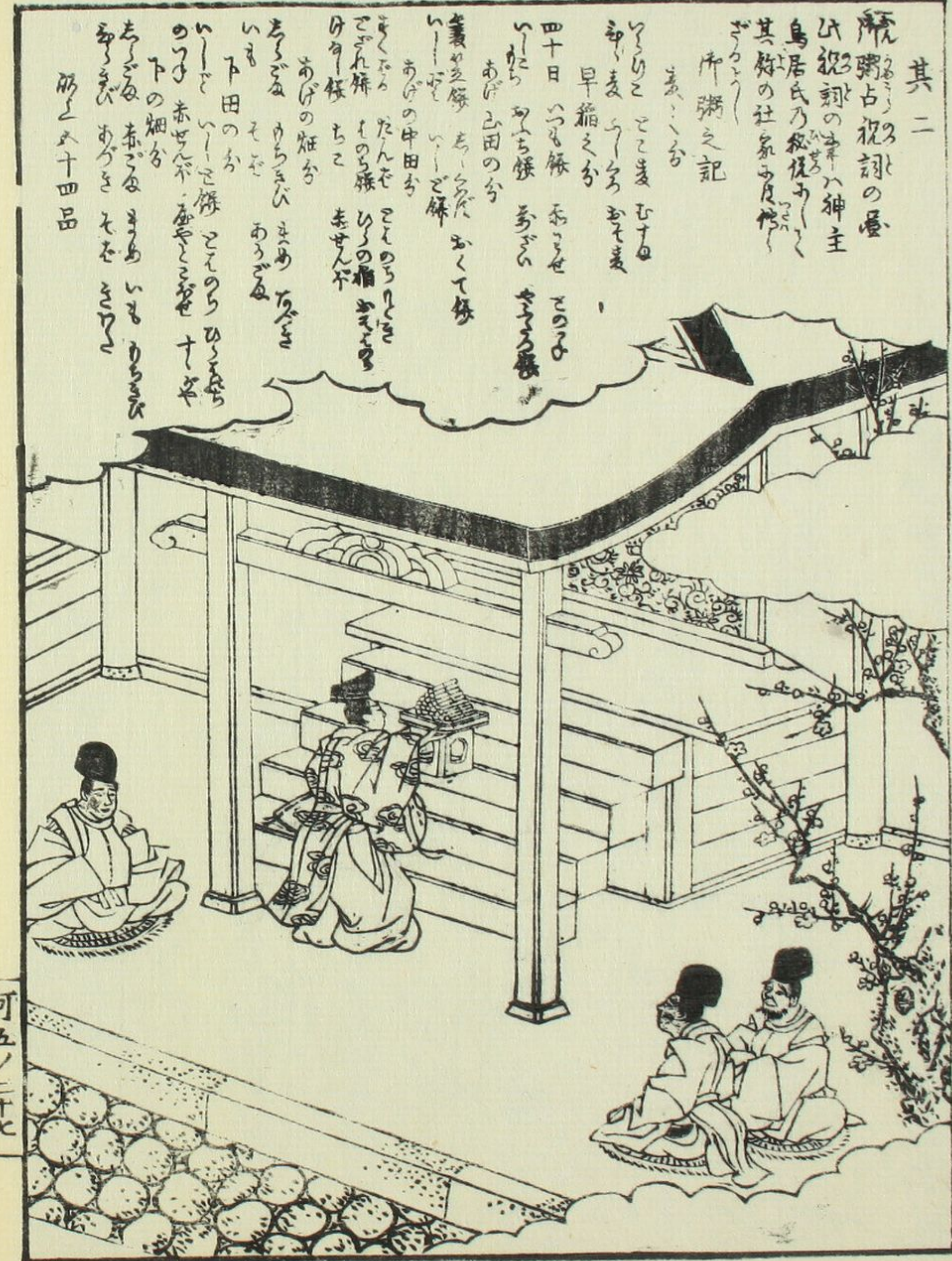
ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ



河五ノ二十七

解除川 神あひ細 夏越岩 皇天門 神居の門

行合橋 夏越川ハカ
御儀所 豊浦村属村箱庭と新家の

粥占神事 毎年正月十五日 豊浦村
近隣の農夫集りて其業の

五穀の豊凶を

如ト 土人云系街道 四條村の間に
思ハハハハハハハハ

占守表身ハハハハハハハハ
豊浦 未結

大塚 四條村ハあり 梅ハハハハハハハハ
の都を所ハハハハハハハハ

大津神社 延喜式出 旧水走村

栗原神社 延喜式出 若原村ハあり

焼ケ火 土人の儀云ハハハハハハハハ
真嗣ハハハハハハハハ

それハハハハハハハハ
物ハハハハハハハハ

思智ハハハハハハハハ
このありハハハハハハハハ

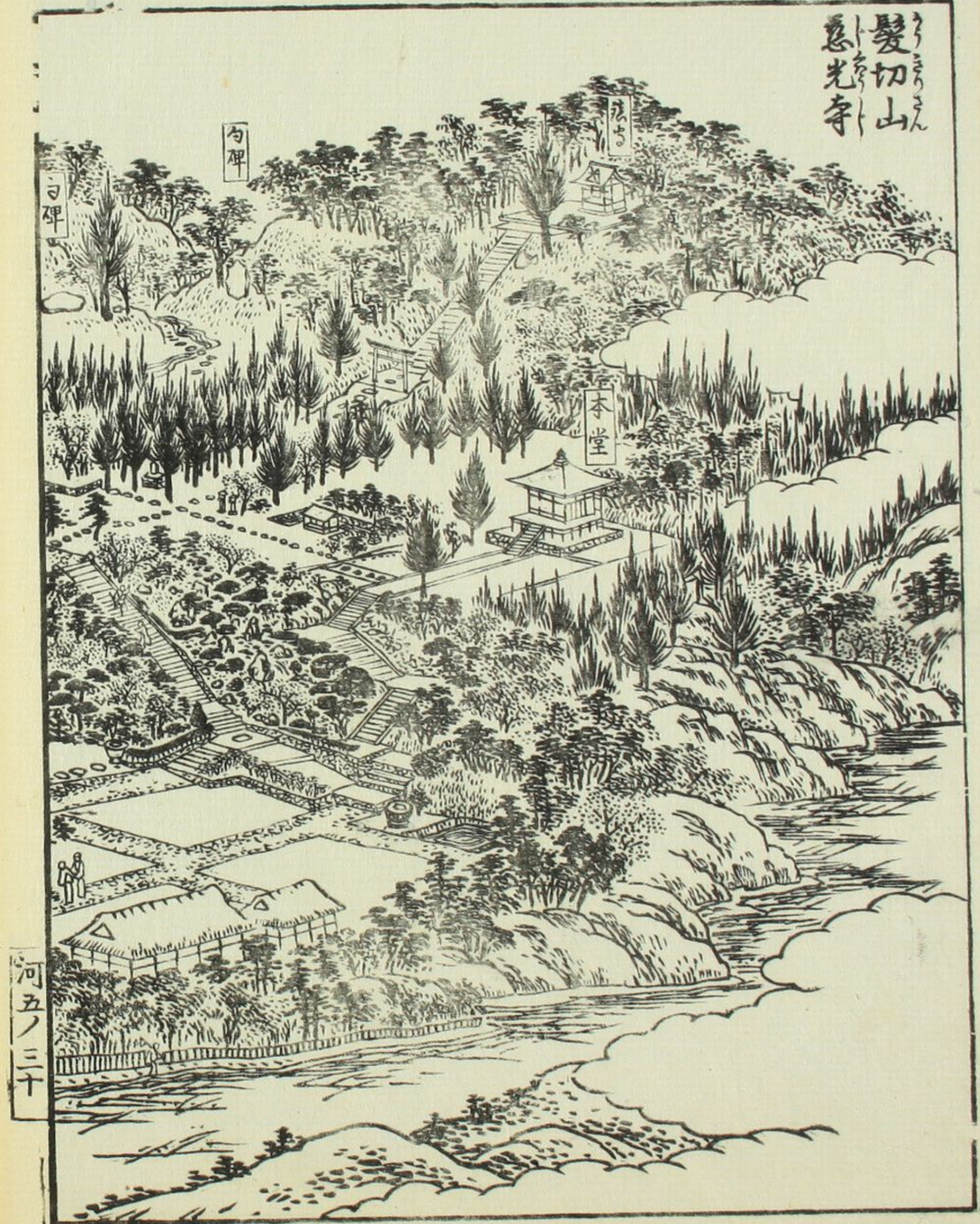
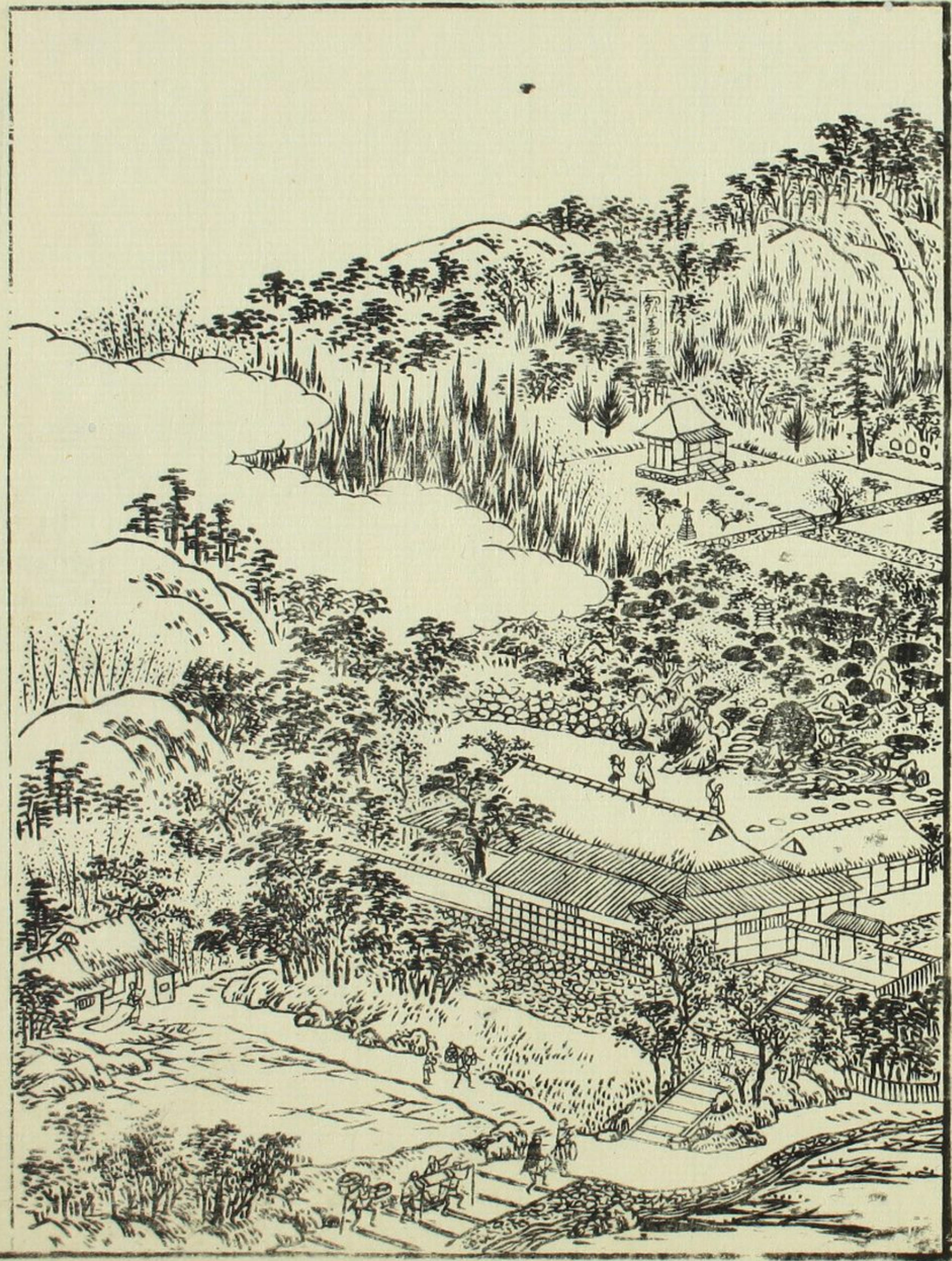
火を生ハハハハハハハハ
火を生ハハハハハハハハ

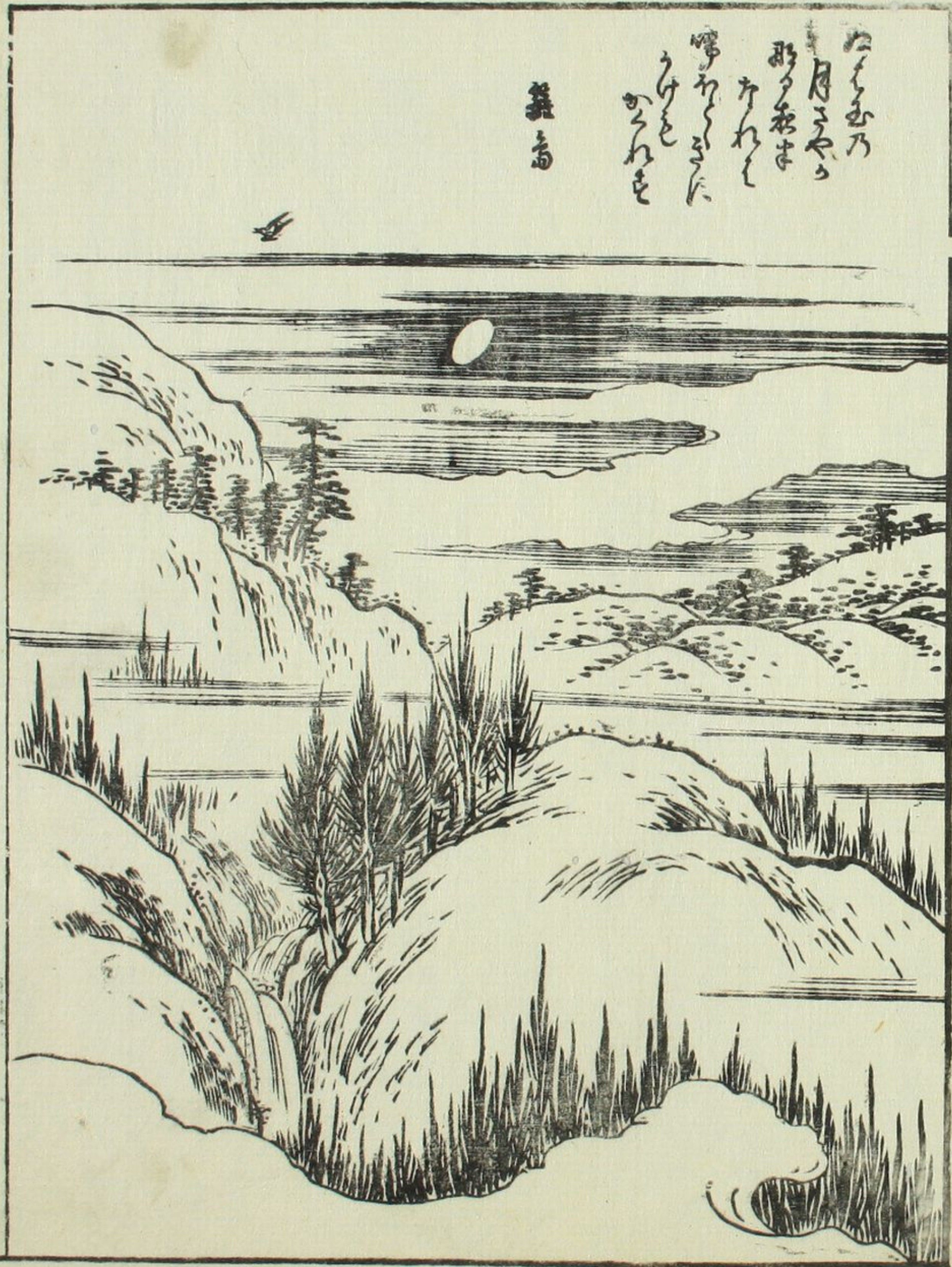


扱られ
 礼して
 ちあひ
 ちあひ



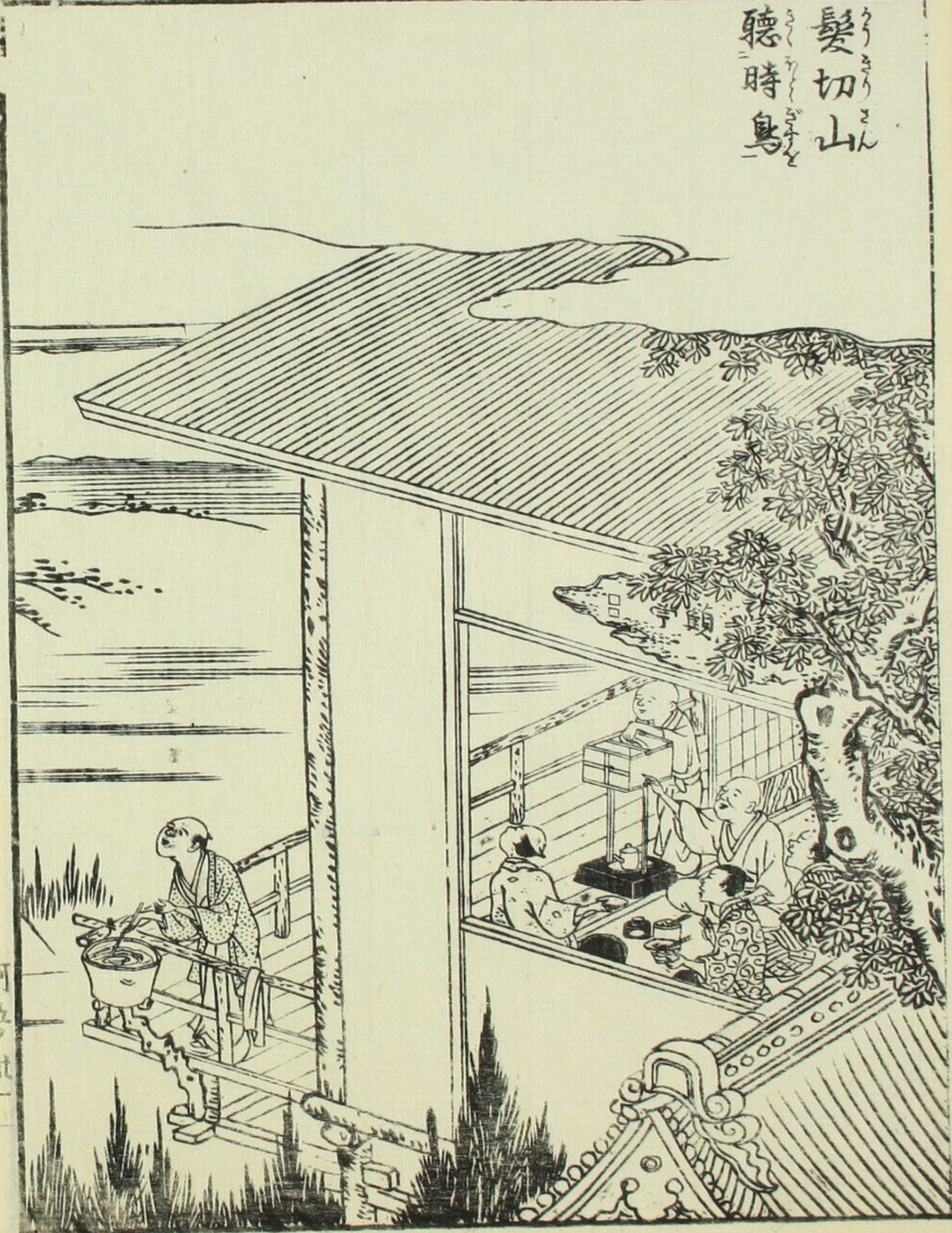
平園の
 宮居の
 すまひら
 迎村より
 集りて
 かと角せ
 いとまふ
 は神と
 軍神を
 こゝあへん





美高

乃
月
形
か
う
か



髮切山
聽時鳥

河五ノ二

先立と云ふ所ありこれ地中の湯の熱きなり一尋あり小尋あり
くろき馬場信武の本朝天文志に見ゆ

標ヶ嶺 茶宮道あり峠村小栗宿舎多し東の端小河内大和の
一汲あり此の松林あり小栗宿舎多し東の端小河内大和の
一汲あり此の松林あり小栗宿舎多し東の端小河内大和の

兼れ多し小尋ありのほり節白く部
遊順寛政十一年己未十二月豊浦村の末頼は白碑林ヶ嶺峠街道の側
小尋あり此の松林あり小栗宿舎多し東の端小河内大和の

髮切山慈光寺 真言宗
本尊役行者 左小獨鋸公持

親音堂 本堂の北あり正親善孤安ん 行若く小尋ありの時
鬼髪田 親善嶽の麓あり 五子塚 五子の塚あり

鎮守 山王八幡 夫役優婆塞と和列葛上郡茅原邑の産く母の爰小獨鋸空あり

降く口不入やんく 忽壯身 舒明帝六年正月朔日誕 終小尋あり

三年辛卯十月廿八日 七歳ありて始く慈救児を誦き 終小尋あり

あつり 時より聰明叡智に 修験道に信 年二十二歳の時

家瓜棄く葛城山不入 巖窟に安居 終小尋あり

松子と食小充く 神呪詠誦 白雲小駕して 終小尋あり

驅逐く 使令く 日域の靈嶽を修歴せ 終小尋あり

の龍小入く 龍樹大士小謁 又と金津嶽小入り 葛城の石橋小言主神を

促と神異妙奇 劇ふる 天智帝の時 騰駒山の深溪小鬼藏有

て住返これ 爲小凶害 終小尋あり 其西鬼を捕て 呪縛を其地

以今鬼取山入り 若者小かの鬼髪を擢んで 地の巖陵小登り 雨の

役使せ 終小尋あり 金峰山入り 小前鬼後鬼を 終小尋あり

其 終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

終小尋あり 終小尋あり 終小尋あり

其景象の東に大和の碧嶽西に難波の滄浪を隔く日想觀の便ありしむれ
月を皎々として千岩の水が訪ひ風を凜々として松林小翠を彈き嘗て
聞ひりしと子の守田六字の傍あり東海をび業田とある現ひ
元龜の兵變小羅く佛圖荒暴しく今僅小存を舊苑荒基楊柳
新形りしとびあつりの覽古ありし

嵩山と郭公の名所さく難波津及び遠辺の駿人并月さ月の間これ
来りく泊し風流を添くそ子鶴を寺小認む法が納言子親の言葉
に本々のこれ業まごまげうの形をけり居小まごまごる小業もま方を
居ててねまのまの死のあふやかくせと移小あうしはふかし曇り
まふ夕はうさよ海など志のびくわく華んまのふそ耳くや
お月ゆるまぞたどくしをつけんと何のころちうせんせは風
韻小魁孤せられて詞か毎年遠邊の柳士うの葉まく蜀魂の句を作り
日くの風空ふ子親を其風流せん聲まごまご
花亭

不動寺

鎮田村長尾園小あり對麓山を驛に
真言系系平石高貴寺小属を

牛尊不動尊

弘法大伴信長を尺八寸許古を魏々として
大伴の周基し牛頭を以里郷保の遠祖高内

加持水

當寺より三町許山奥小あり大伴密法
修りの時用の小あり

石碑

寺内小あり通津高内秀育の伝傳云天正年中
通津龍山公牧園社に造りし中

案内して此寺に造りしと
高貴寺の意を和上激發して岩面小刻し文字小金銀紙
入し不朽を形しぬ
其文云

天正年の頃新開白通津系久公牧園社小造りし
高内正定より此寺小入せたまはりし

枯のこけ長尾のわらわをねまもあけてしむるは

養龍庵後

因茲寺が長尾寺又遊ぶともいふ所跡あり長尾の傳を今小業
まやありけむは景勝を見し小藤藩を松枝小ありと慈身を林頭小
晴皇變烟寂々香火颯々として清淨無塵の佛室あり



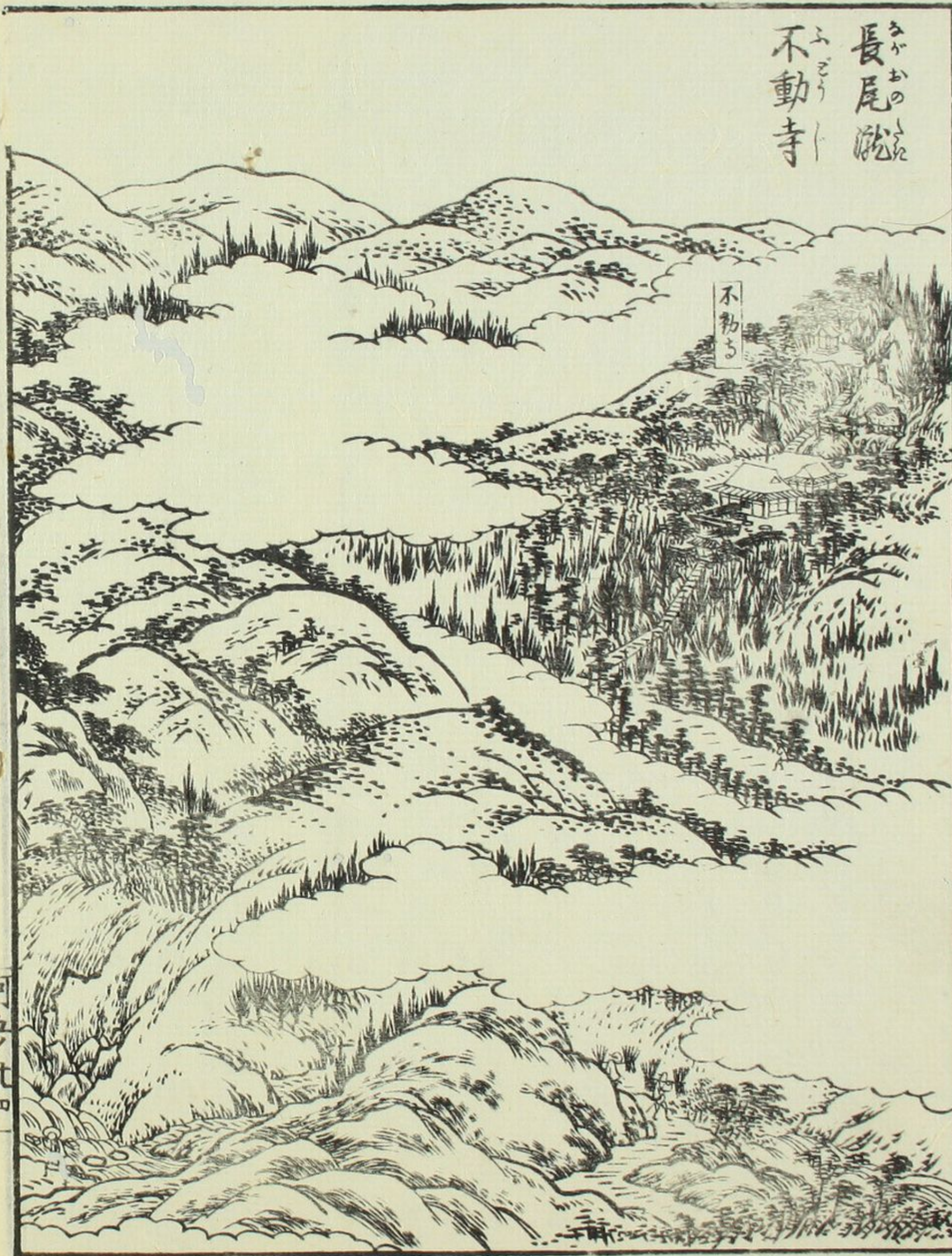
上院

古院

二之院

不動寺

長尾
不動寺



不動寺

河五世



近衛龍公
長尾御所
清光とて
和評を
孫一の人

河五ノ三十五

長尾瀧

雄飛龍高サ四丈許左右巨巖直下小滝
雙龍菴 唯雄の滝の上小あり慈雲比丘五ヶ年待山飛

此爰龍の花泉眼見く小雲小飛く素練を垂石小瀝く明珠成
散まがみしむつ弘法大師額田寺小止錫の時以脱小来りく
密法を修しみく立大尊弘法く長尾寺小安り乃と今小病
若れそのは瀝小活く如きを平愈と嘗く龍小公も崔嵬く焦路を
訪ねく廿餘所の山奥小分入るせられり少くも所詠秋有は秋を
雙竜庵主書少い高内氏岩面小鵞せられ其文曰
天正の以赤開白赤之公牧岡社小詣を高内正定
路の所く之に系りは瀝小くらりく
たつ子すいありとも爰に小まれ長尾のれ之の瀝のた系

額田神祠

額田村ゆり神額田大仲産子形り應神額乃神子
河五ノ卅六

雙龍菴談

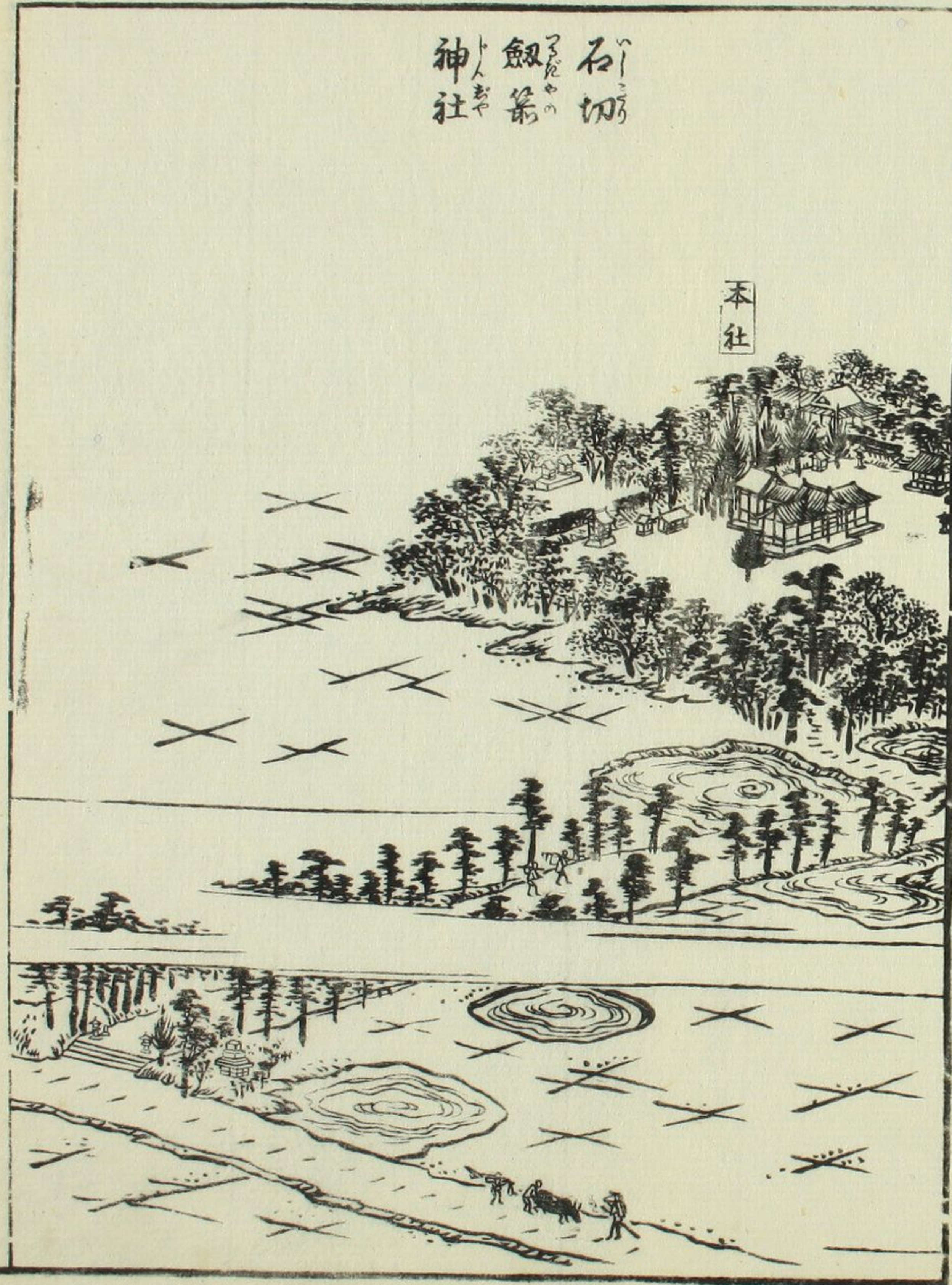
高城入姫祠 紀古佐美祠 皆人祠
高内氏の家小傳事
額田大内神と事小傳事
額田寺 日村小あり醫王山中神
本尊藥師佛 彦像を尺七寸許日光月老十二辨將瓜安ん弘法
大伴作大伴系降りり高野山へ下向の時く止宿
あり城別八様り高野山へ高野道り極小高野街乃と古道を
又高野道りり末去高野寺のありり高野道を合
高野山寂靜虎小傳事
千手寺 日村小あり真言宗
本尊千手觀音 弘法大師作
後り者の洞基厥后弘法大師著りてり小止宿り時小若女狂
爰の中小現り補陀隆山の香木瓜與り覺く極上小あり大伴系
左中將業平卿龍を著りてを合を建立志り中興を極上り
業平塔 禪天家 極地あり祠の形瓜
鷲尾山 極樹あり

鷲尾山

極樹あり

石切
劔箭
神社

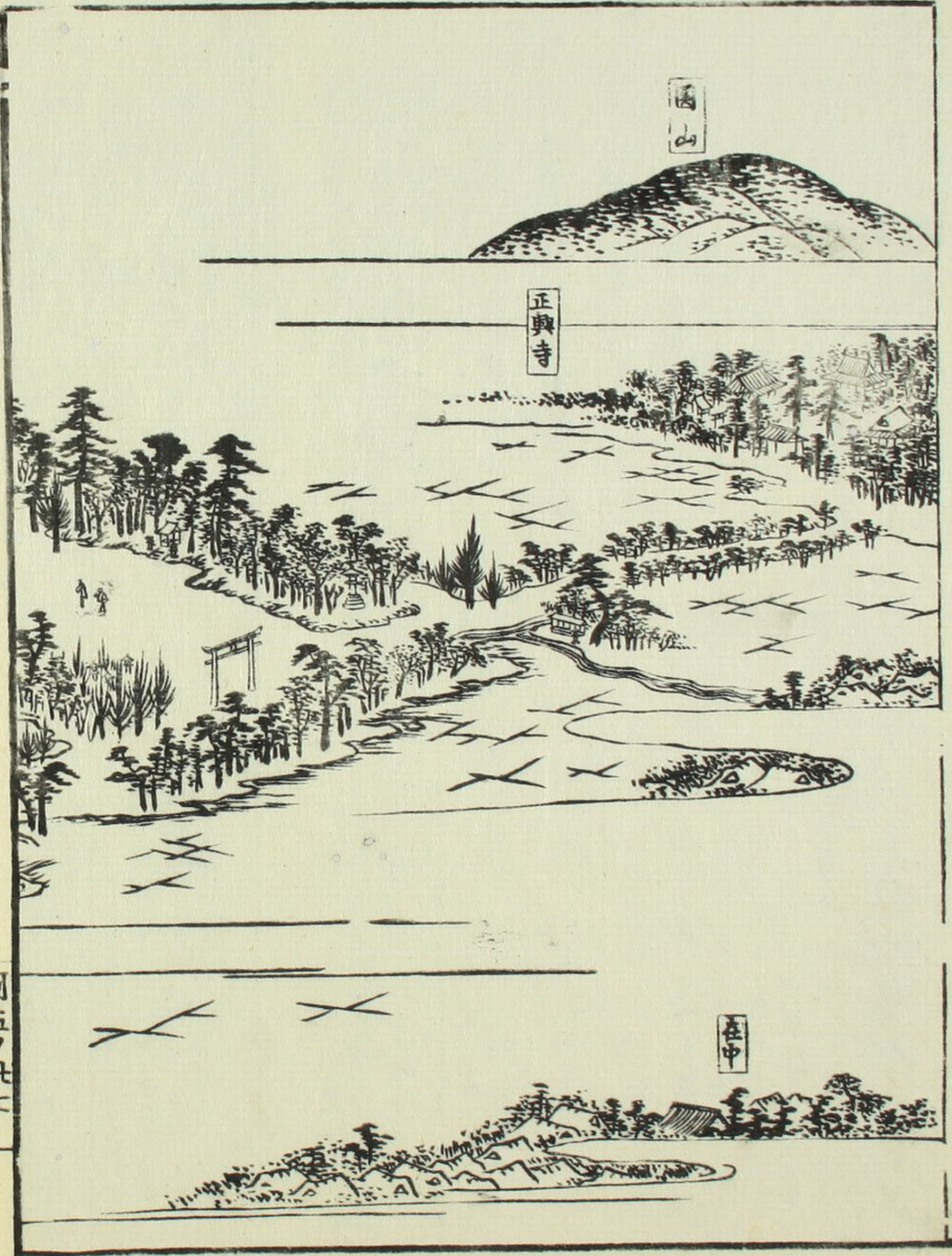
本社



正興寺

正興寺

在中



河五ノ舟七

鷲尾山



河五ノ八

石切劔箭神社二座

神樂村あり延喜式出三代實錄云貞觀七年

下社と上社之例あり六月十四日神並芝植付額田

興法寺

神並村の上あり鷲尾山を辨

本尊三面千手觀音

聖武天皇行基大士 婆羅門

爲山肇役り者用基羅門云云今
止揚して諸堂宏管たり新羅門云云
僅小存き永福年中大和丹後守入道淳味神並村あり
は古きで廿四所あり同左右小橋の双本瓜植付額田

什寶

十二神將十二位同

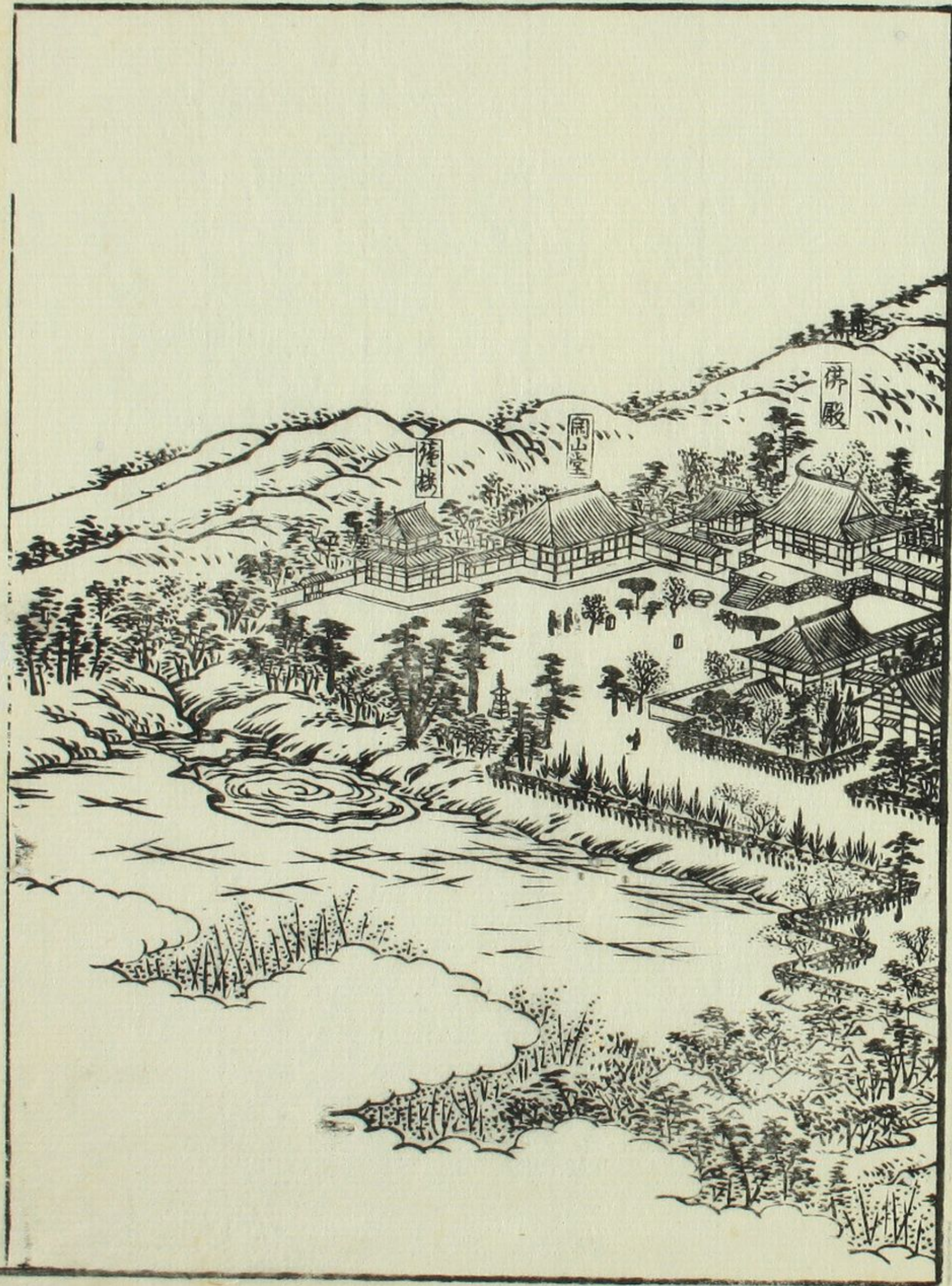
草香山

伊勢山の續あり山趾小下里あり類字名所集に振津

神武紀云邇流而上經至河内國草香邑白肩之津云

聖運の月歩

萬葉集の長歌草香山然あり
忍照難波をさく打靡草香れ山を夕うれぬ
吾くえくれ山もせふはきるつじのにく



日下
大龍寺



河五ノ平

正法寺

